

酪農学園大学大学院酪農学研究科 業 績 集

(2022年 1 月－12月)



目 次

酪農学専攻 修士課程

●作物生産科学	1
土壌植物栄養学	1
病理・害虫学	1
飼料作物学	3
植物遺伝学	4
酪農機械学	8
農業工学	8
●家畜生産科学	9
家畜繁殖学	9
遺伝・育種学	11
家畜栄養学	14
家畜管理学	21
酪農生物化学	22
●酪農情報学	23
酪農経営情報学	23
農業経営学	23
酪農政策学	23
農業市場学	25
●環境共生学	27
野生動物学	27
国際環境情報学	32
地球環境保全学	34

フードシステム専攻 修士課程

●食資源利用システム	40
農・畜産食品学	40
●食料政策システム	41
食料政策論	41
食品流通論	42
●経営管理システム	42
経営管理論	42
食品情報システム論	42

食品栄養科学専攻 修士課程

●加工特性	43
食品加工特性学	43
食物性学	45
●栄養機能	46
食品栄養機能化学	46
食品機能生化学	47
●健康栄養	49
健康栄養学	49
臨床栄養学	54
●食環境管理	56
食品微生物管理学	56
食品環境汚染学	57

食生産利用科学専攻 博士課程

植物資源生産学	57
動物資源生産学	64
食資源開発利用学	83
応用食品科学	84
微生物利用学	84
農業経営政策学	84
食料経済学	86

食品栄養科学専攻 博士課程

●加工特性	86
食品加工特性学	86
食物性学	88
●栄養機能	88
食品栄養機能化学	88
食品機能生化学	88
●健康栄養	90
健康栄養学	90
臨床栄養学	93
●食環境管理	94
食品微生物管理学	94

食品環境汚染学	95
---------------	----

酪農学専攻 修士課程

●作物生産科学

土壌植物栄養学

教 授 澤本 卓治

- ・論文
- ・著書

(1) 資料：みんなのミニレビュー「これまでの研究活動を振り返って」

澤本卓治

土壌の物理性 150 55-55 2022 年 3 月

- ・社会貢献

准教授 小八重 善裕

- ・論文
- ・著書

(1) 菌根と地力の関係についての一考察

小八重善裕, 千徳毅

作物生産と土づくり 54 2-5 2022 年 8 月 筆頭著者責任著者

- ・社会貢献

病理・害虫学

教 授 園田 高広

- ・論文

(1) アスパラガス収穫期の養分消費を担うフルクタン加水分解酵素

上野敬司, 園田高広, 吉田みどり, 川上顕, 塩見徳夫, 小野寺秀一

応用糖質科学 12(2) 2022 年

- ・著書

(1) 機を知るは農の始まりにして終わりなり-健土健民入門実習作物編-

(担当:共著)

酪農学園大学社会連携センター 2022 年 4 月

(2) アスパラガス若茎頂部のフルクトオリゴ糖量

上野敬司, 今田果実, 佐藤日向, 菅原佑花, 松井来夢, 家山麻希, 園田高広, 小

野寺秀一

園芸学研究 別冊 21(2) 2022 年

- ・社会貢献

(1) 美幌町伏せ込み促成栽培アスパラガスの巡回指導会

助言・指導

JA 美幌 2022 年 12 月 13 日

准教授 薦田 優香

・論文

(1) Short 5' Untranslated Region Enables Optimal Translation of Plant Virus Tricistronic RNA via Leaky Scanning

Yuji Fujimoto, Takuya Keima, Masayoshi Hashimoto, Yuka Hagiwara-Komoda, Naoi Hosoe, Shuko Nishida, Takamichi Nijo, Kenro Oshima, Jeanmarie Verchot, Shigetou Namba, Yasuyuki

Journal of Virology 96(7) e0214421 2022 年 3 月 9 日 査読有り

(2) An efficient mechanical inoculation technique for soybean dwarf virus reveals that the viral readthrough domain is inessential for the systemic infection of host plants

Yuka Hagiwara-Komoda

Journal of General Plant Pathology 88(3) 197-202 2022 年 3 月 1 日 査読有り筆頭

著者責任著者

(3) 植物ウイルスに対する新たな劣性抵抗性遺伝子の発見とその作用メカニズム

橋本将典, 煉谷裕太郎, 桂馬拓也, 薦田(萩原)優香, 難波成任, 山次康幸

植物ウイルス病研究会レポート (14) 2022 年

・著書

(1) 機を知るは農の始めにして終りなり : 健土健民入門実習

小宮道士, 岡本吉弘, 亀岡笑, 小八重善裕, 澤本卓司, 三枝俊哉, 園田高広, 森志郎, 薦田優香, 中平賢吾, 山口剛典, 川岸孝博, 川端幸枝 (分担執筆, 範囲:作物の病気のはなし.)

酪農学園大学社会連携センター 2022 年 4 月 (ISBN: 9784902786316)

・社会貢献

准教授 岡本 英竜

・論文

・著書

・社会貢献

准教授 中平 賢吾

・論文

・著書

- ・社会貢献

飼料作物学

教 授 三枝 俊哉

- ・論文

- (1) 北海道のウシ放牧草地における放牧期延べ体重に対応した施肥適量
三枝俊哉, 金田学, 小田島究路, 西道由紀子, 松本武彦, 大坂郁夫
日本草地学会誌 68(2) 73-84 2022 年 10 月 査読有り筆頭著者

- ・著書

- (1) 肥料の無駄減らす”定量的”な草地肥培管理法
三枝俊哉
デーリィマン 72(12) 47-49 2022 年 12 月 招待有り筆頭著者
- (2) 土壌診断と有機物施用に基づく施肥対応の効果
三枝俊哉
デーリィマン 72(4) 36-39 2022 年 4 月 招待有り筆頭著者

- ・社会貢献

教 授 義平 大樹

- ・論文

- (1) Effect of Nitrogen topdressing on planting density response of grain yield in maize with different planting pattern cultivation
Song Liang, Taiki Yoshihira
Grassland Science 68 286-297 2022 年 2 月 6 日 査読有り責任著者
- (2) Simplified estimation of branching plasticity of soybean cultivars in relation to planting density by branch development in the row with the gradient of distance between plants and after pinching Plant Production Science 25 受理 印刷中 査読有り筆頭著者

- ・著書

- ・社会貢献

- (1) 北海道における地方農業振興に関わる産官学の取り組み ~技術普及における農業支援組織の連携について~ JICA プログラム 青年研修「フィリピン農村振興」1 回目 講師 2022 年 2 月 2 日
- (2) 農福連携を現場で実践するにあたっての実務的課題
司会, 企画 江別農福連携協議会 2022 年 3 月 7 日
- (3) 農福連携に関する最新の動向 司会, 企画
れんけい (農福連携推進グループ) 2022 年 3 月 7 日
- (4) 令和 4 年度 北海道開発局事前評価技術検討会 審査委員会

外部審査委員 2022 年 6 月 28 日

- (5) 北海道のスイートコーンの魅力 北海道ブランド Air-G ラジオ FM 放送
出演 2022.年 9 月 4 日、9 月 11 日
- (6) 北海道における地方農業振興に関わる産官学の取り組み ~技術開発における農業支援組織の連携について~ JICA プログラム 青年研修「フィリピン農村振興」2 回目 講師 2022 年 8 月 2 日
- (7) 大豆、小豆、菜豆試験栽培に関する成果報告会および意見交換会(帯広農業高校) コメンテーター 講師 2022 年 11 月 12 日
- (8) 道内の農福連携取組状況と 道南地域で取組みやすい事例紹介および 今後の農福の課題について 檜山振興局主催 農業と障がい者福祉の連携を推進するセミナー 講師 2022 年 11 月 21 日

植物遺伝学

教 授 森 志郎

・論文

- (1) 余市岳におけるエゾコザクラの葉緑体ゲノムの遺伝変異とその形態

原悠里, 我妻尚広, 岡本吉弘, 森志郎

日本緑化工学誌 48(1) 51-55 2022 年 8 月 査読有り

・著書

- (1) 機を知るは農の始めにして終りなり : 健土健民入門実習

小宮, 道士, 岡本, 吉弘, 亀岡, 笑, 小八重, 善裕, 澤本, 卓治, 三枝, 俊哉, 園田, 高広, 森, 志郎, 薦田, 優香, 中平, 賢吾, 山口, 剛典, 川岸, 孝博, 川端, 幸枝

酪農学園大学社会連携センター 2022 年 4 月 (ISBN: 9784902786316)

- (2) 花芽分化期の高温遭遇がスプレーカーネーション‘チェリーテッシノ’の切り花品質に及ぼす影響

森志郎, 珍田由香里

酪農学園大学紀要. 自然科学編 46(2) 57-61 2022 年 3 月 筆頭著者責任著者

・社会貢献

- (1) 札幌市の設置する都市公園及び札幌市豊平川さけ科学館に係る指定管理者及び公募対象公園施設設置等予定者選定委員会

その他

2022 年 5 月 10 日 - 2023 年 3 月 31 日

- (2) 第 42 回北海道花き品評会

その他

2022 年 7 月 14 日

- (3) 第 13 回北海道農業高校生ガーデニングコンテスト

その他

2022 年 6 月 25 日

- (4) 北海道養液栽培研究会 冬季講座 2022

司会

2022 年 2 月 18 日

- (5) 北海道施設園芸高度化フォーラム

司会

2022 年 2 月 17 日

教 授 我妻 尚広

・論文

- (1) 余市岳におけるエゾコザクラの葉緑体ゲノムの遺伝変異とその形態特性—

Genetic variation of chloroplast genome and morphological characteristics of *Primula cuneifolia* Ledeb. var. *cuneifolia* at Yoichidake in Hokkaido, Japan—第 53 回大会特集

原 悠里, 我妻 尚広, 岡本 吉弘, 森 志郎

日本緑化工学会誌 / 日本緑化工学会 [編] 48(1) 51-55 2022 年 8 月 査読有り責任著者

・著書

・社会貢献

- (1) 2022 年度北海道札幌啓成高等学校課題研究発表会

講師

2022 年 12 月 16 日

- (2) 2022 年度北海道札幌啓成高等学校課題研究

助言・指導

2022 年 10 月 20 日

- (3) 2022 年度北海道札幌啓成高等学校課題研究発表会中間発表会

講師

北海道札幌啓成高等学校 2022 年 8 月 26 日

- (4) 2022 年度日本生物教育会第 76 回全国大会北海道大会

講師

日本生物教育会、北海道生物教育会、日本理化学協会、北海道高等学校理科学研究会 2022 年 8 月 2 日 - 2022 年 8 月 4 日

- (5) 2022HOKKAIDO サイエンスフェスティバル兼インターナショナルサイエンスフェア

講師

北海道札幌啓成高等学校 2022 年 2 月 14 日

准教授 岡本 吉弘

・論文

- (1) 余市岳におけるエゾコザクラの葉緑体ゲノムの遺伝変異とその形態特性
原悠里, 我妻尚広, 岡本吉弘, 森志郎
日本緑化工学会誌 48(1) 51-55 2022 年 査読有り

・著書

- (1) 機を知るは農の始めにして終りなり-健土健民入門実習 作物編-
小宮道士, 岡本吉弘, 亀岡笑, 小八重善裕, 澤本卓治, 三枝俊哉, 園田高広, 森志郎, 薦田優香, 中平賢吾, 山口剛典, 川岸孝博, 川端幸枝 (分担執筆範囲:健土健民入門実習 (作物) について, 育種のはなし, 北海道におけるイネ栽培の実際)
酪農学園大学社会連携センター 2022 年 4 月 (ISBN: 9784902786316)

・社会貢献

- (1) イネの収量調査 -単位面積あたりの玄米収量を知る -
講師, 助言・指導
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 機農コース 1 年生 30 名対象 酪農学園大学附属とわの森三愛高校との高大連携実習第 5 回目 2023 年 2 月 28 日
- (2) イネの収量調査 -玄米 1 粒重 (精粳 1 粒重) を知る -
講師, 助言・指導
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 機農コース 1 年生 30 名対象 酪農学園大学附属とわの森三愛高校との高大連携実習第 4 回目 2023 年 2 月 22 日
- (3) イネの収量調査 - 登熟歩合を知る -
講師, 助言・指導
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 機農コース 1 年生 30 名対象 酪農学園大学附属とわの森三愛高校との高大連携実習第 3 回目 2023 年 2 月 21 日
- (4) イネの収量調査 - 1 穂粒数を知る -
講師, 助言・指導
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 機農コース 1 年生 30 名対象 酪農学園大学附属とわの森三愛高校との高大連携実習第 2 回目 2023 年 2 月 15 日
- (5) イネの収量調査 - 代表株の選定 -
講師, 助言・指導
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 機農コース 1 年生 30 名対象 酪農学園大学附属とわの森三愛高校との高大連携実習第 1 回目 2023 年 2 月 14 日
- (6) イネの育種の世界を知る-葯培養による育種から交雑育種まで-
講師
富山県立南砺福野高校 2022 年 12 月 13 日

- (7) 中学校での生物育成支援について（支援可能な事例紹介）
情報提供
江別第一中学校 キャリア教育推進事業 酪農学園大学で「生きる力」を身につける 2022 年 10 月 27 日
- (8) 循環農学類教員 3 名によるミニ講義 - ミカン、コメ、食料自給率-（コメ担当）
講師
酪農学園大学入試広報センター 2022 年度附属高校通信制コース（1・2 年生主対象）キャンパスツアー 2022 年 9 月 20 日
- (9) 酪農学園大学紹介
情報提供
札幌厚別高校 2022 年 8 月 25 日
- (10) FEDREC 作物生産ステーション見学
講師
酪農学園大学入試広報センター 2022 年 8 月 22 日
- (11) FEDREC 作物生産ステーション見学
講師
2022 年 8 月 17 日
- (12) 酪農学園大学のミッションと三つのポリシーについて
情報提供
北海道高等学校長協会農業部会 令和 4 年度 北海道高等学校長協会農業部会と関係機関との連携（高大連携）研究協議会 2022 年 7 月 28 日
- (13) 北海道のイネの栽培技術のはなし（栽培）
講師
星槎国際高等学校 本部校 2・3 学年農業履修生徒 2022 年 7 月 14 日
- (14) 北海道のイネの栽培技術のはなし（栽培）
講師
星槎国際高等学校 本部校 1・3 学年農業履修生徒 2022 年 7 月 12 日
- (15) 3 年総合進学コースキャリアデー（作物生産ステーション見学を通じて、作物生産分野と農業経済分野を知る）
講師
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 2022 年 7 月 1 日
- (16) 北海道のイネの品種改良のはなし（育種）
講師
星槎国際高等学校 本部校 2・3 学年農業履修生徒 2022 年 6 月 23 日
- (17) 北海道のイネの品種改良のはなし（育種）

講師

星槎国際高等学校 本部校 1・3 学年農業履修生徒 2022 年 6 月 21 日

酪農機械学

教授 小宮 道士

・論文

・著書

(1) 乳牛の姿勢および行動の判別に関するロバストな手法開発

坂本海人, 松田朝陽, 田中孝之, 石川志保, 森田茂, 小宮道士, 原亮一

計測自動制御学会北海道支部学術講演会論文集 54th 2022 年

・社会貢献

農業工学

准教授 石川 志保

・論文

・著書

(1) 太陽エネルギー～再生可能エネルギー分野で活躍する女性たちセミナー特集

石川志保 (担当:分担執筆, 範囲:バイオマス利活用の現状とこれからの展望)

一般社団法人 日本太陽エネルギー学会 2022 年 11 月

(2) 乳牛の姿勢および行動の判別に関するロバストな手法開発

坂本海人, 松田朝陽, 田中孝之, 石川志保, 森田茂, 小宮道士, 原亮一

計測自動制御学会北海道支部学術講演会論文集 54th 2022 年

・社会貢献

(1) 酪農場での作業効率化等に貢献するスマート統合システム

講師

日本学術会議公開シンポジウム「持続的な畜産経営を目指したスマート技術と
今後の展望」2022 年 12 月 11 日

(2) 環境保全型農業を支えるバイオマスの利用技術と SDGs 達成に向けた新たな挑
戦

講師

北海道畜産草地学会第 11 回大会シンポジウム「北海道における SDGs 達成に向
けた畜産草地研究 Part 2」2022 年 9 月 3 日

(3) バイオマス利活用の現状とこれからの展望

講師

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 第 34 回太陽光発電部会セミナー「再生
可能エネルギー分野で活躍する女性たち」2022 年 8 月 2 日

●家畜生産科学

家畜繁殖学

教 授 今 井 敬

・論文

・著書

(1) 牛 ET 実践手引書

(担当:共著, 範囲:第 5 章 最近の経膣採卵技術について p.151-188)

東京図書出版 2022 年 4 月 (ISBN: 9784866414850)

(2) OPU-IVP による胚生産技術の理論と現状 (2022.12)

今井 敬

OPU-IVF によるウシ胚生産における技術者研修 畜産技術協会 1-37 2022 年 12 月

(3) IETS における雌牛からの OPU-IVP による胚生産に関する議論：プリカンファレンス・シンポジウムおよび実務者フォーラムより

今井 敬

北海道牛受精卵移植研究会 会報 (40) 9-17 2022 年 3 月 筆頭著者

(4) OPU-IVP によるウシ胚の生産技術(2022)

今井 敬

OPU-IVF におけるウシ胚生産における技術者研修 1-36 2022 年 3 月 筆頭著者

(5) ウシ経膣採卵 (OPU) 一体外受精技術

今井 敬

ウシの繁殖性向上に向けた獣医医療技術講座 1-35 2022 年 1 月 招待有り

(6) 経膣採卵 (OPU) の実際

今井 敬

牛の繁殖性向上に向けた獣医医療技術講座 37-42 2022 年 1 月 招待有り筆頭著者

・社会貢献

(1) OPU-IVF によるウシ胚生産における技術者研修

講師, 企画, 実演

畜産技術協会 2022 年 12 月 6 日

(2) OPU 実務者技術研修会

講師, 実演

畜産技術協会 2022 年 10 月 26 日 - 2022 年 10 月 27 日

(3) 第 2 回編集委員会への参加

編集, 助言・指導, 情報提供, 企画

畜産技術協会 2022 年 10 月 4 日

(4) 第 1 回編集委員会への参加

編集, 助言・指導, 情報提供

畜産技術協会 2022 年 7 月 8 日

(5) OPU-IVF によるウシ胚生産における技術者研修

講師, 実演

畜産技術協会・酪農学園大学 2022 年 3 月 4 日

(6) ウシの繁殖性向上に向けた獣医療技術講座

講師, 実演

畜産技術協会・宮崎大学 2022 年 1 月 6 日 - 2022 年 1 月 7 日

教 授 堂地 修

・論文

・著書

(1) 乾式凍結器で凍結保存したウシの体外受精胚および体内受精胚の生存率および受胎率

片岡妃奈, 西寒水将, 今井 敬, 堂地 修

第 6 回日本胚移植技術研究会・第 39 回北海道牛受精卵移植研究会合同研究発表北海道大会 講演要旨集 42-42 2022 年 11 月

(2) 初期卵割に異常を認めた OPU-IVP 胚の受胎性

片岡妃奈, 佐藤友紀, 齋藤涼太, 佐野将之, 本吉拓也, 椎名拓海, 西寒水 将, 堂地 修, 今井 敬

第 6 回日本胚移植技術研究会・第 39 回北海道牛受精卵移植研究会合同研究発表北海道大会 講演要旨集 50-50 2022 年 11 月

(3) 最近の黒毛和種の分娩および産子に関する諸データ

片岡妃奈, 西寒水 将, 今井 敬, 堂地 修

第 6 回日本胚移植技術研究会・第 39 回北海道牛受精卵移植研究会合同研究発表北海道大会 講演要旨集 15-16 2022 年 11 月 招待有り

・社会貢献

(1) 全国和牛登録協会中央審査員

助言・指導

公益財団法人全国和牛登録協会 2022 年 4 月 22 日 - 2025 年 3 月 31 日

(2) 令和 4 年度畜産・酪農生産力強化対策事業における繁殖性等向上対策事業検討委員

助言・指導

一般社団法人全国肉用牛振興基金協会 2022 年 7 月 20 日 - 2023 年 3 月 31 日

- (3) 第12回全国和牛能力共進会北海道対策本部 顧問
助言・指導
一般社団法人北海道酪農畜産協会 2022年3月31日 - 2023年3月31日
- (4) 公益財団法人全国和牛能力共進会審査顧問
助言・指導
公益財団法人全国和牛登録協会 2022年10月1日 - 2022年10月10日
- (5) 令和3年度畜産・酪農生産力強化対策事業（繁殖性等向上対策）に係る肉用牛繁殖性向上検討会 肉用牛繁殖技術シンポジウム
パネリスト, 司会
一般社団法人全国肉用牛振興基金協会 2022年2月21日

准教授 森好 政晴

・論文

- (1) 呼吸器病症候群(BRDC)の子牛における加療前後の血中ハプトグロビン濃度測定
中村 正明, 小山 毅, 松井 義貴, 澤向 豊, 杉浦 智親, 森好 政晴
産業動物臨床医学雑誌 12(4) 188-192 2022年1月 査読有り

・著書

・社会貢献

- (1) 循環農学類 獣医保健看護学類・家畜人工授精師養成講習会および家畜受精卵移植講習会
講師
酪農学園大学 2022年8月 - 2022年9月
- (2) 家畜人工授精講習会
講師
学校法人八紘学園北海道農業専門学校 2022年7月 - 2022年8月
- (3) 畜産コース1・2年次「家畜繁殖学I」の講義を担当
講師
学校法人八紘学園北海道農業専門学校 2021年11月 - 2022年2月

遺伝・育種学

教授 天野 朋子

・論文

- (1) Conventional Gel Electrophoresis-Resolvable Insertion/Deletion Markers for Individual Identification and Analysis of Population Genetics in Red-Crowned Cranes in Eastern Hokkaido, Japan

Erika Kawasaki, Dong Wenjing, Akira Sawada, Momoko Nakajima, Kunikazu Momose, Tomoo Yoshino, Tomoko Amano, Daiji Endoh, Nobuyoshi Nakajima, Hiroki Teraoka

Animals 12(17) 2293-2293 2022 年 9 月 4 日 査読有り

- (2) Metabarcoding of feces and intestinal contents to determine carnivorous diets in red-
Haruka KATAOKA, Nanami KOITA, Natsuko Ito KONDO, Hiroshi C. ITO, Momoko NAKAJIMA, Kunikazu MOMOSE, Hiroko IIMA, Tomoo YOSHINO, Tomoko AMANO, Takio KITAZAWA, Daiji ENDOH, Nobuyoshi NAKAJIMA, Hiroki TERAOKA

Journal of Veterinary Medical Science 2022 年 1 月 査読有り

- ・ 著書
- ・ 社会貢献

教 授 佐藤 元昭

- ・ 論文
- ・ 著書
- ・ 社会貢献

准教授 増田 豊

- ・ 論文

- (1) Identifying influential sires and distinct clusters of selection candidates based on genomic relationships to reduce inbreeding in the US Holstein

Y. Steyn, Y. Masuda, S. Tsuruta, D.A.L. Lourenco, I. Misztal, T. Lawlor

Journal of Dairy Science 105(12) 9810-9821 2022 年 12 月 査読有り

- (2) An iterative method for de-regressed proof in single-step genomic BLUP and its application to a dairy cattle population

Y Masuda, Z Liu, P Sullivan

Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production

19_017 2022 年 7 月 査読有り筆頭著者

- (3) Is single-step genomic REML with the algorithm for proven and young more computationally efficient when less generations of data are present?

Vinicius Silva Junqueira, Daniela Lourenco, Yutaka Masuda, Fernando Flores Cardoso, Paulo Sávio Lopes, Fabyano Fonseca E Silva, Ignacy Misztal

Journal of animal science 100(5) 2022 年 3 月 15 日 査読有り

- (4) Invited review: Unknown-parent groups and metafounders in single-step genomic BLUP

Yutaka Masuda, Paul M. VanRaden, Shogo Tsuruta, Daniela A.L. Lourenco, Ignacy Misztal

Journal of Dairy Science 105(2) 923-939 2022 年 2 月 査読有り招待有り筆頭著者
責任著者

・ 著書

- (1) 牛におけるゲノミック選抜法の積極的な活用 第3回 ゲノミック育種価の信頼度と最適な種雄牛選択

増田 豊

繁殖技術 42(5) 123-129 2022 年 9 月 筆頭著者

- (2) 牛におけるゲノミック評価における抗病性

増田 豊

臨床獣医 40(8) 30-34 2022 年 7 月 招待有り

- (3) Investigating genetic redundancy as a source of genetic diversity and adaptability in the U.S. Holstein breed

Steyn, Y, Lawlor, T.J, Tsuruta, S, Masuda, Y, Legarra, A, Lourenco, D.A.L, Misztal, I
Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production
67_015 2022 年 7 月 査読有り

- (4) Population structure of U.S. Holsteins allows for a snapshot of allele frequency changes and family specific SNPs

Lawlor, T.J, Steyn, Y, Tsuruta, S, Masuda, Y, Lourenco, D.A.L, Misztal, I
Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production
61_008 2022 年 7 月 査読有り

- (5) How ssGBLUP became suitable for national dairy cattle evaluations

Misztal, I, Lourenco, D, Tsuruta, S, Aguilar, I, Masuda, Y, Bermann, M, Cesarani, A, Legarra, A
Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production
52_009 2022 年 7 月 査読有り

- (6) Recent updates in the BLUPF90 software suite

Lourenco, D, Tsuruta, S, Aguilar, I, Masuda, Y, Bermann, M, Legarra, A, Misztal, I
Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production
36_012 2022 年 7 月 査読有り

- (7) A deregression method for a single-step SNP BLUP model using all genotype data

Z Liu, Y Masuda

Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production
19_012 2022 年 7 月 査読有り

- (8) An alternative method to consider a reference population in Single-Step SNP BLUP model without separating genomic terms
Osawa, T, Baba, T, Masuda, Y, Kawahara, T, Goto, Y
Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production 19_003 2022 年 7 月 査読有り
- (9) 牛におけるゲノミック選抜法の積極的な活用 第 2 回 DNA 情報を用いる選抜法
増田 豊
繁殖技術 42(3) 89-94 2022 年 7 月 招待有り筆頭著者
- (1 0) Genomic prediction of milk-production traits in Thai dairy cattle
Pattarapol Sumreddee, Sayan Buaban, Somsak Prempre, Kiettisak Lengnudem, Jatuporn Pongpeng, Korbsook Thongsodsang, Monchai Duangjinda, Praopilas Phakdeedindan, Yutaka Masuda
2022 Current trends of livestock research in Taiwan and Southeast Asian Countries Organized by Department of Animal Science, National Chung Hsing University, Taiwan June 29 – July 1, 2022 (online) 2022 年 6 月
- (1 1) 牛におけるゲノミック選抜法の積極的な活用 第 1 回 従来選抜法の問題とゲノミック選抜法への期待
増田 豊
繁殖技術 42(3) 53-58 2022 年 5 月 招待有り筆頭著者
- (1 2) 牛群サイズまたは繁殖成績が上位の乳用牛群記録に基づく推定育種価の精度の検証
山崎武志, 大澤剛史, 増田豊
日本畜産学会大会講演要旨 130th 2022 年
- ・ 社会貢献

家畜栄養学

教 授 泉 賢一

・ 論文

- (1) Sodium butyrate administration modulates the ruminal villus height, inflammation-related gene expression, and plasma hormones concentration in dry cows fed a high-fiber diet
Rika Fukumori, Kazuya Doi, Taisei Mochizuki, Shin Oikawa, Satoshi Gondaira, Tomohito Iwasaki, Kenichi Izumi
Animal Science Journal 93(1) 2022 年 10 月 査読有り最終著者責任著者
- (2) Effects of digestive drug containing betaine hydrochloride on dry matter intake, rumen profiles, and blood concentrations of gut hormones in non-lactating cows

Rika Fukumori, Yumiko Takayama, Kenichi Izumi, Shin Oikawa

The Japanese Journal of Animal Hygiene 47(4) 197-204 2022 年 3 月 1 日 査読有り

・著書

- (1) Dairy PROFESSIONAL : Vol.25 「飼料価格高騰の今、飼養管理を見直す」
泉 賢一 (担当:分担執筆, 範囲:②油脂の正しい使い方)
デーリイジャパン社 2023 年 1 月 15 日
- (2) 乳量・乳質向上のチェックポイント【2021 年版ホルスタイン・データファイル
付き】
(担当:分担執筆, 範囲:第III章 飼料設計・給餌の見直し 1 飼料設計と実際の乳量
の関係、3 目的別飼料設計・給餌の見直し②乳脂率など成分の改善)
デーリイマン社 2022 年 5 月 1 日
- (3) ルーメン先生の今日もウシから学んでいます 第 5 回 飼料効率を考える 上
泉 賢一
全酪新報 2023(2 月) 2023 年 2 月 10 日 招待有り筆頭著者責任著者
- (4) ルーメン先生の今日もウシから学んでいます 第 4 回 ホル雄肥育に海藻給与
泉 賢一
全酪新報 2023(1 月) 2023 年 1 月 10 日 招待有り筆頭著者責任著者
- (5) 連載／押さえておきたい栄養管理の基本 現場で想定される飼料設計の疑問 そ
の 2
芦沢 博道, 泉 賢一
デーリイマン 72(12) 84-87 2022 年 12 月 15 日 招待有り最終著者責任著者
- (6) ルーメン先生の今日もウシから学んでいます 第 3 回 子牛のルーメンの発達②
泉 賢一
全酪新報 2022(12 月) 2022 年 12 月 10 日 招待有り筆頭著者責任著者
- (7) ワンポイント質問 アンモニアが高い草の栄養設計
泉 賢一
家畜診療 69(12) 725-727 2022 年 12 月 1 日 査読有り招待有り筆頭著者責任著
者
- (8) 連載／押さえておきたい栄養管理の基本 現場で想定される飼料設計の疑問 そ
の 1
芦沢 博道, 泉 賢一
デーリイマン 72(11) 84-87 2022 年 11 月 15 日 招待有り最終著者責任著者
- (9) ルーメン先生の今日もウシから学んでいます 第 2 回 子牛のルーメンの発達
泉 賢一
全酪新報 2022(11 月) 2022 年 11 月 10 日 招待有り筆頭著者責任著者

(10) 連載／押さえておきたい栄養管理の基本 消化・吸収の仕組みと飼料設計の手順

芦沢 博道, 泉 賢一

デーリィマン 72(10) 84-87 2022 年 10 月 15 日 招待有り最終著者責任著者

(11) ルーメン先生の今日もウシから学んでいます 第1回 4つの胃袋と発酵熱
泉 賢一

全酪新報 2022(10月) 2022 年 10 月 10 日 招待有り筆頭著者責任著者

(12) 代用乳中の乳糖含量の違いが乳用子牛の血液、糞便性状および消化率に及ぼす影響

廣瀬 美紀, 中山 貴公, 福森 理加, 及川 伸, 千里 今日子, 嶋田 健介, 則村 いづみ, 泉 賢一

日本畜産学会大会講演要旨集 130 回 94-94 2022 年 9 月

(13) 乳用子牛における代用乳の乳糖含量が腸管透過性および肝臓の炎症性サイトカイン mRNA 発現量に及ぼす影響

中山 貴公, 廣瀬 美紀, 福森 理加, 千里 今日子, 嶋田 健介, 峯尾 仁, 則村 いづみ, 泉 賢一, 権平 智, 樋口 豪紀, 及川 伸

日本畜産学会大会講演要旨集 130 回 127-127 2022 年 9 月

・社会貢献

(1) ルーメン、飼料、飼料設計についての座談会

講師, 情報提師

NOSAI 宮崎 学習会 2023 年 2 月 14 日

(2) ルミノロジーに関する研修

講師

全酪連札幌支所 研修会 2023 年 2 月 1 日

(3) 乳牛と酪農の底ぢからをのぞいてみよう

講師

星槎国際高校 総合授業 2022 年 11 月 29 日 - 2022 年 12 月 6 日

(4) 岡山県内酪農場の情報交換会

講師, 助言・指導

全酪連、おかやま酪農協 2022 年 11 月 25 日

(5) ヒマワリ種子給与試験について

助言・指導

名寄産業高校、北海道酪農検定検査協会 探究学習 2022 年 11 月 18 日

(6) 乳牛栄養学

講師, 企画, 運営参加・支援

ホクレン 酪農専門技術強化研修 2022 年 10 月 18 日

- (7) 『商品にならない昆布を肉牛に与えて街おこし』
 講師
 アニマドーレ、酪農大入試課 アニマドーレ in 酪農学園大学 2022 年 9 月 25 日
- (8) 「National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine」(通称「NASEM」)について
 講師
 全酪連 全酪連職員研修 2022 年 8 月 18 日 - 2022 年 8 月 25 日
- (9) 酪農用語の理解、乳牛のライフサイクル、牛に関する基礎数字について、搾乳の理論と搾乳実習、飼養環境について、トラブルシューティングについてか
 講師, 企画, 運営参加・支援
 ホクレン 酪農専門技術強化研修 2022 年 8 月 8 日 - 2022 年 8 月 10 日
- (10) 乳牛のすごさ、酪農のすごさ
 出演, 実演
 酪農学園大学 チカホ de マルシェ 2022 年 2 月 9 日 - 2022 年 2 月 13 日
- (11) 「ルーメン機能を意識した飼料給与」、「インテリジェント牛舎見学」
 講師
 酪農ヘルパー全国協会 令和 4 年度酪農ヘルパー 中級者養成研修 2023 年 1 月 17 日
- (12) 「ルーメン機能を意識した飼料給与」、「インテリジェント牛舎見学」
 講師
 ウシのエサについて、酪農を学び体験する講座、搾乳実習
 講師, 実演
 ホクレン農業協同組合連合会 / 北海道牛乳普及協会、社会連携センター 元気ミルク大学 2022 年 8 月 10 日 - 2022 年 8 月 11 日

教授 菊 佳男

・論文

- (1) 1 牧場における牛消化管内寄生虫の 駆虫効果と駆虫プログラムの構築について
 嶋田 楓, 葛巻 勇哉, 阿部 悠人, 竹田 壮太, 筈寄 大輔, 西村あかり, 岸田 美月, 北野 菜奈, 福森 理加, 菊 佳男, 高橋 俊彦
 牛臨床寄生虫研究会誌 13(1) 3-12 2023 年 1 月 査読有り
- (2) 超音波画像解析を用いた乳房炎罹患乳房の炎症評価の試み：農林水産省経営局長賞—Attempt to evaluate inflammation of udder with mastitis using ultrasonographic imaging analysis—令和 3 年度家畜診療等技術全国研究集会・入賞論文
 石井 美玖, 大谷 夏輝, 田中 秀和, 菊 佳男, 磯部 直樹

- 家畜診療 = Journal of livestock medicine 69(11) 643-652 2022 年 11 月 査読有り
- (3) Coinfection with *Candida tropicalis* and Cytomegalovirus in a Piglet
Yuuto KAWASHIMA, Hiroyasu TAKAHASHI, Kiyoko NOBUMOTOI, Yasuko, HANAFUSA, Tomoyuki SHIBAHARA, Osamu MIKAMI, Yoshio KIKU, Koichi KADOTA
Japan Agricultural Research Quarterly 56(4) 399-404 2022 年 10 月 査読有り 責任著者
- (4) 抗菌薬使用量低減に向けた乳房炎防除戦略
菊佳男
北海道畜産草地学会報 10(2) 6-9 2022 年 9 月 招待有り 筆頭著者 責任著者
- ・ 著書
- (1) 最近ちょっと耳にする選択的乾乳期治療の話
菊 佳男
酪農 PLUS+ 2023 年 1 月
- (2) 乳房炎研究の現状と課題
菊佳男
畜産技術 = Livestock technology (809) 2-7 2022 年 10 月
- (3) 5-アミノレブリン酸投与によるホルスタイン種哺育牛の血液性状に及ぼす影響
菊 佳男
酪農学園大学紀要. 自然科学編 47(1) 1-6 2022 年 10 月
- (4) 牛の乳房炎原因菌同定におけるマトリックス支援レーザー脱離イオン化 (MALDI) 質量分析の有用性
安富 一郎, 塩倉 悠靖, 溝口 匠飛, 池田 徳明, 菊 佳男
北海道獣医師会雑誌 66(8) 258-258 2022 年 8 月
- (5) 生産ロスを見直す~乳質・乳房炎編~PART 6 選択的乾乳期治療の可能性
菊 佳男
Dairy Japan 67(7) 90-97 2022 年 6 月 招待有り 責任著者
- (6) ホルスタイン種乳牛における日本初の選択的乾乳期治療法の確立
北野 菜奈, 菊 佳男, 高橋 俊彦
家畜感染症学会誌 11(1) 35-35 2022 年 4 月
- (7) ホルスタイン種において乳汁中の IgA および IgM 濃度の遺伝率は高い
桂哲平, 遠藤佑真, 庄 涛, 浦川めぐみ, 吉村 梢, 高梨 暁, 林 智人, 菊 佳男, 長澤裕哉, 浅野貴史, 佐沢公子, 横井允雄, 吉田 岳, 中村武彦, 上本吉伸, 野地智法, 麻生 久
日本乳房炎研究会報 26 73-74 2022 年 3 月
- (8) 乳汁細菌検出キットによる経済損失の削減に資する有用性評価に関する研究

関塚次郎, 大林 哲, 高橋和瑛, 來原加奈, 長澤裕哉, 杉山 碧, 林 智人, 菊 佳男, 前花浩志, 小田光太郎

日本乳房炎研究会報 26 52-55 2022 年 3 月

(9) 超音波画像解析を用いた乳房炎の治療効果および予後判定の検討

石井美玖, 大谷夏輝, 田中秀和, 菊 佳男, 磯部直樹

日本乳房炎研究会報 26 43-51 2022 年 3 月

(10) 乳用牛における日本型選択的乾乳期療法の構築

北野菜奈, 菊 佳男, 高橋俊彦

日本乳房炎研究会報 26 41-42 2022 年 3 月

(11) 国際酪農連盟 (IDF) において議論されている乳房炎の定義に関するガイドラインについて

菊 佳男

日本乳房炎研究会報 26 26-29 2022 年 3 月 招待有り筆頭著者責任著者

(12) 超音波画像解析を用いた乳房炎罹患乳房の炎症評価の試み

石井美玖, 大谷夏輝, 田中秀和, 菊佳男, 磯部直樹

家畜診療 69(703) 48-49 2022 年 1 月

・社会貢献

教 授 中辻 浩喜

・論文

(1) 高水分未利用飼料原料の凍結解凍・脱水処理が原料からの水分除去率と栄養成分および人工消化試験によるブタの乾物および粗タンパク質消化率に及ぼす影響

山田未知, 西藤寛人, 山中将彦, 武田陽介, 池原麻友美, 山田幸二, 中辻浩喜

日本養豚学会誌 59(3) 157-166 2022 年 9 月 査読有り

・著書

(1) 周産期疾病から牛を守る (デーリイマン編集部 編)

中辻浩喜 (担当:分担執筆, 範囲:2. 周産期の飼料設計・給餌の見直し (第IV章 栄養管理からのアプローチ))

デーリイマン秋季臨時増刊号, デーリイマン社, 札幌 2022 年 10 月 (ISBN: 9784864530873)

(2) 乳量・乳質向上のチェックポイント (監修 青木康浩)

中辻浩喜 (担当:分担執筆, 範囲:2. 目的別飼料設計・給餌の見直し ①段階的乳量コントロール (第III章 飼料設計給餌の見直し))

デーリイマン夏季臨時増刊号, デーリイマン社, 札幌 2022 年 5 月 (ISBN: 9784864530842)

- (3) 適切な乳量調整法を探る ①飼料メニュー見直しの手順と変更時の留意点
中辻浩喜

Dairyman 72(3) 44-47 2022 年 3 月 招待有り筆頭著者責任著者

・社会貢献

- (1) ホクレン畜産生産部 酪農専門技術強化研修

講師, 助言・指導

ホクレン農業協同組合連合会 酪農学園大学, 江別市 2022 年 8 月 10 日

- (2) 令和 4 年度第 1 回「酪農家飼養環境及びバルク乳成分調査事業」推進委員会

助言・指導

JRA 畜産振興事業 (事業責任者: 北海道大学大学院農学研究院 三谷朋弘准教授) 北海道大学農学部会議室, 札幌市 2022 年 8 月 4 日

- (3) 令和 4 年度北海道農業試験会議 (新規課題検討会議) 畜産部会

助言・指導

(地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部 道総研畜産試験場, 新得町 2022 年 6 月 30 日 - 2022 年 7 月 1 日

- (4) 令和 3 年度北海道農業試験会議 (設計会議) 畜産部会

助言・指導

(地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部 WEB 会議 2022 年 3 月 9 日 - 2022 年 3 月 11 日

- (5) 令和 3 年度北海道農業試験会議 (成績会議) 畜産部会

助言・指導

(地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部 WEB 会議 2022 年 1 月 18 日

教 授 山田 未知

・論文

- (1) Mitochondrial characteristics of chicken breast muscle affected by wooden breast

Yasuhiro Hasegawa, Marina Hosotani, Miyu Saito, Tatsuki Nagasawa, Yusuke Mori, Takeshi Kawasaki, Michi Yamada, Naoyuki Maeda, Takafumi Watanabe, Tomohito Iwasaki

Comparative Biochemistry and Physiology Part A: Molecular & Integrative Physiology 273 111296-111296 2022 年 11 月 査読有り

- (2) 高水分未利用飼料原料の凍結解凍・脱水処理が原料からの水分除去率と栄養成分および人工消化試験によるブタの乾物および粗タンパク質消化率に及ぼす影響

山田未知, 西藤寛人, 山中将彦, 武田陽介, 池原麻友美, 山田幸二, 中辻浩喜
日本養豚学会誌 59(3) 157-166 2022 年 9 月 査読有り筆頭著者責任著者

- (3) Decreasing the abundance of tetracycline-resistant Escherichia coli in pig feces during nursery using flavophospholipol as a pig feed additive

Junichiro Kimura, Hayami Kudo, Akira Fukuda, Michi Yamada, Kohei Makita,
Kentaro Oka, Motomichi Takahashi, Yutaka Tamura, Masaru Usui
Comparative Biochemistry and Physiology Part A: Molecular & Integrative
Veterinary and Animal Science 15 100236-100236 2022 年 3 月 査読有り

- (4) Immune Response in Chickens Vaccinated with Freeze-Thawed or Warmed Water-in-Oil Vaccine

Takeshi Kawasaki, Tomohito Iwasaki, Takafumi Watanabe, Yasuhiro Hasegawa,
Marina Hosotani, Michi Yamada
The Journal of Poultry Science 2022 年 査読有り

- ・ 著書
- ・ 社会貢献

家畜管理学

教 授 森田 茂

- ・ 論文

- (1) Measurement of frequency of sucking in rubber teat-fed dairy calves using an accelerometer attached on the neck-collar

Morita Shigeru; Okazaki Syunpei; Kato Hiroyuki; Ueda Koichiro

Animal behaviour and Management 58(3) 109-115 2022 年 8 月 25 日 査読有り 筆
頭著者 責任著者

- ・ 著書

- (1) 文献紹介 東京ミルクものがたり

森田茂

畜産技術 (811) 44 2022 年 12 月

- (2) 文献紹介 動物福祉学

森田茂, 鷺見菜穂子

畜産技術 (809) 40 2022 年 10 月

- (3) IDF 常設委員会農場管理常設委員会報告書

森田茂

2021 年度国際会議出席報告 215-224 2022 年 2 月 招待有り

- (4) 酪農を学ぶ楽しさは人も牛も HAPPY にする

森田茂

デーリィ・ジャパン (1 月号) 9-9 2022 年 1 月

- ・ 社会貢献

- (1) 自動搾乳システムでの乳牛行動に適した飼養管理および施設計画
講師
令和4年中央畜産技術研修会 2022年11月16日 招待有り
- (2) 自動搾乳システムでの農場内データ活用と乳牛行動理解による飼養管理の改善
講師
北海道酪農技術セミナー2022 2022年11月8日 招待有り
- (3) 人と家畜相互の信頼と恐れに基づく洗練された家畜管理 技術の普及
講師
第16回日本セーフティプロモーション学会学術大会 2022年10月29日 招待有り

教授 山田 弘司

- ・論文
- ・著書
- ・社会貢献
- (1) アニマルセラピー 動物から元気をもらう心と体のはたらき
講師
札幌市立羊丘中学校 2022年11月25日
- (2) アニマルセラピー 動物から元気をもらう心と体のはたらき
講師
札幌市立北白石中学校 2022年9月16日
- (3) 初心者でも分かる動物心理学
講師
北海道帯広緑陽高校 2022年7月22日

准教授 猫本 健司

- ・論文
- (1) 北海道の乳牛哺育センターにおける疾病と増体に関する実態調査
猫本健司, 小玉明日香, 佐藤博佳
日本畜産環境学会誌 2022年11月 査読有り筆頭著者責任著者
- ・著書
- ・社会貢献

酪農生物化学

教授 小澤 修二

- ・論文

- ・ 著書
- ・ 社会貢献

●酪農情報学

酪農経営情報学

教 授 吉野 宣彦

- ・ 論文
 - (1) 草地型酪農における草地更新後の収益性格差と意思決定
吉野宣彦, 小糸健太郎
酪農学園大学紀要 47(1) 1-25 2022 年 10 月 筆頭著者最終著者責任著者
- ・ 著書
 - (1) 資材価格高騰下における生乳価格引き上げの意義と課題
吉野宣彦
酪農ジャーナル電子版【酪農 PLUS+】 2022 年 8 月 招待有り筆頭著者
- ・ 社会貢献
 - (1) 北海道本の世界子ども陶芸展審査員
その他
NPO 法人 風の村学舎 2022 年 10 月 1 日 - 2022 年 10 月 31 日

農業経営学

准教授 吉岡 徹

- ・ 論文
- ・ 著書
- ・ 社会貢献

酪農政策学

教 授 井上 誠司

- ・ 論文
 - (1) 5-アミノレブリン酸投与によるホルスタイン種哺育牛の血液性状に及ぼす影響
高橋俊彦, 夏井美聡, 岸田美月, 北野菜奈, 井上誠司, 菊佳男
酪農学園大学紀要 47(1) 1-6 2022 年 10 月
- ・ 著書
 - (1) 法人継承に向けた税理士の対応―道南・G 税理士事務所のケーススタディー―
正木卓・井上誠司

農地所有適格法人の事業継承に関する調査研究報告書 32-37 2022 年 3 月 最終
著者

・社会貢献

- (1) 江別市経済審議会 会長
コメンテーター, 司会, 助言・指導, 情報提供
江別市 2021 年 7 月 1 日 - 2023 年 6 月 30 日
- (2) 江別市行政審議会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供
江別市 2022 年 8 月 29 日 - 2023 年 3 月 31 日
- (3) 令和 4 年度元気なふるさとづくり研究会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
北海道 2022 年 7 月 27 日 - 2023 年 3 月 31 日
- (4) 国営事業評価技術検討会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
北海道開発局 2022 年 4 月 5 日 - 2023 年 3 月 31 日
- (5) 北海道において実施する農業農村整備事業等補助事業の評価に関する技術検討
会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
農林水産省 2021 年 11 月 9 日 - 2023 年 3 月 31 日
- (6) 令和 3 年度元気なふるさとづくり研究会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
北海道 2021 年 7 月 20 日 - 2022 年 3 月 31 日
- (7) 「わが村は美しくー北海道」運動第 10 回コンクール札幌開発建設部ブロック
審査委員会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
札幌開発建設部 2021 年 7 月 14 日 - 2022 年 3 月 31 日
- (8) 国営事業評価技術検討会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
北海道開発局 2021 年 4 月 9 日 - 2022 年 3 月 31 日

教 授 小糸 健太郎

・論文

- (1) 草地型酪農における草地更新後の収益性格差と意思決定
吉野宣彦, 小糸健太郎
酪農学園大学紀要 47(1) 1-25 2022 年 10 月

- (2) A comparative study on fungal diversity in organic and conventionally cultivated lemons during accelerated storage

Kuniko Yoshida, Takeshi Ueno, Kentaro Koito, Dagula Hu, Akihiro Yamaguchi

Current Microbiology (in press) 2022 年 査読有り

・ 著書

・ 社会貢献

- (1) 軽種馬経営高度化指導研修（軽種馬経営技術指導者育成・技術普及）事業に関する経営管理技術研修検討委員会 委員

運営参加・支援

中央畜産会 2022 年 6 月 16 日 - 2023 年 3 月 31 日

- (2) 軽種馬経営実態調査事業に係る委員会 委員

運営参加・支援

中央畜産会 2022 年 6 月 16 日 - 2023 年 3 月 31 日

- (3) 江別市都市計画審議会 委員

運営参加・支援

江別市 2022 年 6 月 6 日 - 2024 年 6 月 5 日

- (4) ICT を用いた授業運営、大学事務の今後の在り方について

事例報告「moodle を利用した学生・教員支援の取り組みから」

小糸健太郎、中村隆文

2022 年度第 1 回「江別 4 大学合同 FD・SD」（えべつ未来づくりプラットフォーム主催）、2022 年 9 月 12 日

農業市場学

教 授 相原 晴伴

・ 論文

・ 著書

- (1) 食料・農産物の市場と流通（講座 これからの食料・農業市場学 第 3 巻）

小池(相原)晴伴 (担当:分担執筆, 範囲:第 4 章 米市場における流通機構の展開と需給調整)

筑波書房 2022 年 7 月

- (2) 畑作物「ゲタ対策」の対象に牧草加え作付け支援を

小池(相原) 晴伴

デーリィマン 72(11) 27 2022 年 11 月 招待有り筆頭著者最終著者

- (3) 水田活用の直接支払交付金の支払条件厳格化と酪農・畜産業への影響

小池(相原) 晴伴

酪農 PLUS 2022 年 6 月 招待有り筆頭著者

- (4) 交付金見直しによる北海道への影響
小池(相原)晴伴
ニューカントリー 69(4) 34-35 2022 年 4 月 招待有り筆頭著者責任著者
- (5) 水田地帯の地域型法人における事業継承の現状と課題
小池(相原) 晴伴
北海道地域農業研究所『農地保有適格法人の事業継承支援に関する調査研究報告書』 1-19 2022 年 3 月 招待有り
- (6) インタビュー“この人に訊く”
小池(相原)晴伴
遠藤卓也『北進イネの挑戦 上』 204-227 2022 年 1 月
- ・社会貢献
 - (1) 北海道農協職員資格認定試験 試験委員
運営参加・支援
北海道農協中央会 2022 年 4 月 1 日 - 2023 年 3 月 31 日
 - (2) 北海道 6 次産業化サポートセンター事業 地域支援検証委員会
司会
北海道農業公社 2022 年 4 月 1 日 - 2023 年 3 月 31 日
 - (3) 自由貿易の推進で日本の食料・農業は大丈夫か？
講師
北海道手稲高校 札幌手稲高校 第 2 年次総合学習「学び探求ゼミ」 2022 年 12 月 8 日 - 2023 年 1 月 26 日
 - (4) このままで日本の食料・農業は大丈夫か？
講師
北海道登別明日中等教育学校 進路別ガイダンス 2022 年 12 月 21 日
 - (5) 農産物の流通と販売
講師
札幌市農業支援センター 市民講座「さっぽろ農学校」専修コース 2022 年 10 月 29 日
 - (6) このままで日本の食料・農業は大丈夫か？
講師
北海道美幌高校 大学・専門学校模擬授業 2022 年 6 月 16 日
 - (7) 後継者対策・担い手対策の基本と地域の役割
講師
北海道留萌振興局 るもい担い手対策推進会議 2022 年 3 月 16 日
 - (8) 北海道 6 次産業化サポートセンター事業 地域支援検証委員会
司会

北海道農業公社 2021 年 8 月 24 日 - 2022 年 3 月 8 日

●環境共生学

野生動物学

教 授 佐藤 喜和

・論文

- (1) Molecular phylogeny and new haplotypes of extinct Asian black bear populations in Kyushu island, Japan

Tetsuji Itoh, Yoshikazu Sato, Naotaka Ishiguro, Minoru Shimizu, Nozomi Kurihara, Masayo Minami, Koji Yamazaki

Japanese Journal of Zoo and Wildlife Medicine 28(1) 2023 年 3 月 査読有り

・著書

- (1) 文藝春秋オピニオン 2023 年の論点 100: 文春ムック

佐藤喜和 (担当:分担執筆, 範囲:市街地出没で事故増加. 「アーバン・ベア」が増えた理由)

文藝春秋 2022 年 11 月 7 日 (ISBN: 4160070558)

- (2) アーバン・ベアとのつきあい方. クマを誘っているのは人なのかも. (石川未紀, 企画・構成) 【特集】足下にある生物多様性.

佐藤喜和

望星 53(10) 37-45 2022 年 10 月 招待有り筆頭著者

- (3) 身近になったヒグマと向きあうために—北海道ヒグマ管理計画 (第 2 期) の施行によせて—

佐藤, 喜和

北海道自治研究 641 24-28 2022 年 6 月 招待有り筆頭著者

- (4) となりのヒグマ. アーバン・ベア問題とはなにか

佐藤, 喜和

UP 51(1) 13-18 2022 年 1 月 招待有り筆頭著者

・社会貢献

- (1) 基調報告】ヒグマとその管理に関する近況

コメンテーター, 司会, 講師, 企画, 運営参加・支援

浦幌町立博物館 卒業論文大発表会 2023in 浦幌「浦幌のヒグマこんなに調べました！」 2023 年 2 月 3 日

- (2) インタビュー【アンカー】白崎義彦, 【ゲスト】酪農学園大学環境共生学類教授

佐藤喜和

出演

NHK NHK ラジオ深夜便 2022 年 12 月 23 日

- (3) 200 万都市札幌におけるアーバンベア問題～その背景と必要な対策とは～

講師

円山動物園 円山動物園トークイベント「フィールドと動物園での普及活動を通して考える人とクマの「いい距離間」」 2022 年 12 月 18 日

- (4) 保全と地域の暮らしの両立を目指して一木頭から始まるツキノワグマ保全のカタチー

インタビュアー, 企画, 運営参加・支援

四国自然史科学研究センター, 日本自然保護協会, 日本クマネットワーク, 木頭図書館 四国ツキノワグマ保護プロジェクト公開シンポジウム 2022 年 12 月 10 日

- (5) 変化する北海道のヒグマとヒトの関係

講師

拓殖大学北海道短期大学 拓殖大学北海道短期大学第 56 回農業セミナー「農業・生活と野生動物」 2022 年 12 月 7 日

- (6) 札幌市における多角的な取り組み事例

パネリスト, 講師

日本クマネットワーク JBN シンポジウム「街に出るクマ～アーバンベアとどう付き合うか？わたしたちにできること～」 2022 年 12 月 4 日

- (7) 「アーバンベア」研究から見た野生動物と社会の関係

講師

日本貿易振興機構アジア経済研究所 第 7 回ワンヘルス研究会 2022 年 12 月 2 日

- (8) 管理の現状と課題

講師

ヒグマの会・旭川市・旭山動物園・旭川市科学館 ヒグマフォーラム in 旭川「街に出るヒグマ アーバンベアと向きあうグランドデザイン」 2022 年 11 月 19 日

- (9) ヒグマの生態と人間社会の変化から考える近年のヒグマ問題および野外調査におけるヒグマ対策

講師

日本環境アセスメント協会 令和 4 年度第 1 回技術セミナー 2022 年 11 月 17 日

- (10) 市街地におけるヒグマ・エゾシカ問題を考える～緊急事対応と平時侵入防止における役割分担と連携～

パネリスト, 司会, 企画, その他

第 27 回「野生生物と社会」学会北海道・江別大会 2022 年 10 月 29 日

- (11) ヒグマの基礎知識・被害対策

講師

北海道 令和4年度ヒグマ保護管理人材育成研修会（帯広会場） 2022年10月
26日 - 2022年10月27日

(12) ヒグマの生態に関する講演会

講師

JR 北海道釧路支社 ヒグマの生態に関する講演会 2022年9月2日

(13) 空知地域ヒグマ学習会

講師

北海道空知振興局 空知地域ヒグマ学習会 2022年8月30日

(14) 都市部のクマとの共生を探る

講師

UHB 大学 UHB 大学講演会 2022年8月23日

(15) 基調講演&学びレッスン

出演, パネリスト, 講師

北海道 ヒグマシンポジウム 2022年8月23日

(16) 「ヒグマ生態勉強会 身近なヒグマとの付き合い方」・地域住民との草刈り

講師

日本生物教育会全国大会 日本生物教育会全国大会実験講座 2022年8月4日

(17) 札幌のヒグマ

出演, 取材協力, 実演

日本テレビ いた! ヤバイ生き物 キケン生物と大バトル 2022年7月12日

(18) 第23回「熊 人類との共存の歴史」コラムゲスト

出演

ヒグマの会 ヒグマフォーラム 2021in 札幌「これからの10年 ヒグマと向きあ

Audible Journey to the origin with Anne 2022年7月1日

(19) 都市に出没するヒグマ

講師

江別ユネスコ協会 江別ユネスコ協会文化講演会 2022年6月23日

(20) クマの錯誤捕獲, 現場で何が起きているの? ~現状と課題を知るための
第一歩~

出演, 司会, 企画, 運営参加・支援

日本クマネットワーク JBN 緊急シンポジウム 2022年5月7日

(21) ヒグマが街に迫る理由 クマ担記者と研究者の現場報告

講師

北海道新聞社デジタル推進本部 どうしん記者トーク 2022年4月21日

(22) クマと人 かしこいおつきあい

講師

たきかわ環境フォーラム エコカフェ 2022 2022 年 4 月 2 日 - 2022 年 4 月 4 日

(23) となりのヒグマとともに生きるために 新岡薫・宮本尚 (文・イラスト)

取材協力

モリイク 23 10-11 2022 年 4 月

(24) クマの市街地出没の現状と課題について

講師

環境省東北地方環境事務所 令和 3 年度東北地方におけるツキノワグマ出没対応勉強会 2022 年 3 月 3 日

(25) 都市部にヒグマが～その背景と今後に向けて～

出演, 司会, 講師

札幌市 さっぽろヒグマフォーラム 2022 「これからのヒグマ対策～ゾーニング管理による共生を目指して～」 2022 年 2 月 26 日

(26) これからのヒグマとの共存のあり方

講師

北海道環境生活部 令和 3 年度 (2021 年度) ヒグマコーディネータ研修会 (兼ヒグマ支援班研修) 2022 年 2 月 1 日

(27) これからの普及啓発のカタチ～クマのことを広めるコツ～

講師, 企画

日本クマネットワーク これからの普及啓発のカタチ～クマのことを広めるコツ～ 2022 年 1 月 29 日

准教授 伊吾田 宏正

- ・ 論文
- ・ 著書
- ・ 社会貢献

准教授 鈴木 透

- ・ 論文

(1) Spatio-temporal epidemiology of animal and human rabies in northern South Africa between 1998 and 2017

Kgaogelo Mogano, Toru Suzuki, Debrah Mohale, Baby Phahladira, Ernest Ngoepe, Yusuke Kamata, George Chirima, Claude Sabeta, Kohei Makita

PLOS Neglected Tropical Diseases 16(7) e0010464-e0010464 2022 年 7 月 29 日 査読有り

(2) Rabies outbreak in black-backed jackals (*Canis mesomelas*), South Africa, 2016.

E Ngoepe, JG Chirima, D Mohale, K Mogano, T Suzuki, K Makita, C.T. Sabeta

Epidemiology and Infection 1-42 2022 年 1 月 7 日 査読有り

- ・ 著書
- ・ 社会貢献

准教授 立木 靖之

- ・ 論文

- (1) Seasonal home range and habitat selection patterns of sika deer *Cervus nippon* in southern Hokkaido, Japan

Lauretta Andrew Laneng, Yasuyuki Tachiki, Rika Akamatsu, Kohei Kobayashi, Chihiro Takahata, Futoshi Nakamura

Wildlife Biology 2022 年 10 月 査読有り

- (2) 野幌森林公園におけるオオハンゴンソウ(*Rudbeckia laciniata* L.)の分布に対する公園利用者と散策路の影響評価

五十嵐詩織, 立木靖之

酪農学園大学紀要 2022 年 3 月 責任著者

- (3) 霧多布湿原周辺のエゾシカによる昆布干場周辺での行動と出没状況

梅田実里, 立木靖之

酪農学園大学紀要 2022 年 3 月 査読有り 責任著者

- ・ 著書

- (1) Sika Deer: Life History Plasticity and Management.

Yasuyuki Tachiki, Kohei Kobayashi, Yoshida Tsuyoshi (担当:分担執筆, 範囲: Movement Patterns of Sika Deer in Hokkaido Region)

Springer 2022 年 3 月

- (2) 足くくりわな及び銃器による捕獲について

立木靖之, 伊吾田宏正 (担当:共著)

グリーンテクノバンク 2022 年 3 月

- (3) エゾシカ被害を防止する金属柵、電気柵と運用方法

立木靖之, 神武海 (担当:共著)

グリーンテクノバンク 2022 年 3 月

- ・ 社会貢献

- (1) 浜中町野生動物調査報告会

出演, コメンテーター, 司会

浜中町鳥獣被害防止対策協議会・浜中町・酪農学園大学生物多様性保全研究室

2023 年 1 月 25 日

- (2) 農林水産省・(株)地域連携センター 地域リーダー(森林)育成研修(北海道)

出演, 講師

(株) 地域連携センター 地域リーダー (森林) 育成研修 (北海道) 2022 年 9 月 12 日 - 2022 年 9 月 14 日

准教授 原村 隆司

・ 論文

(1) Open habitats increase vulnerability of amphibian tadpoles to climate warming across latitude. *Global Ecology and Biogeography*.

Cheng, C-T, M-F. Chuang, T. Haramura, C-B. Cheng, Y. I. Kim, A. Borzée, C-S. Wu, Y-H. Chen, Y. Jang, N. C. Wu, Y-C. Kam

Global Ecology and Biogeography 32 83-94 2023 年 査読有り

(2) Competition between the tadpoles of Japanese toads versus frogs

Haramura, T, K. Eto, MR. Crossland, K. Nishikawa, R. Shine

Scientific Reports 12(12) 1627 2022 年 査読有り 筆頭著者 責任著者

・ 著書

・ 社会貢献

准教授 森 さやか

・ 論文

・ 著書

(1) 北海道内で撲殺されたカワラバト (ドバト) *Columba livia* 剖検とその凶器の検査記録

岡田東彦, 徳宮和音, 大杉祐生, 堀あい, 華園究, 森さやか, 浅川満彦

ANIMATE 17 7-12 2022 年

・ 社会貢献

国際環境情報学

教 授 金子 正美

・ 論文

・ 著書

・ 社会貢献

教 授 星野 仏方

・ 論文

(1) SUSTAINABLE LAND MANAGEMENT IN CORN FARMLAND, SOUTHEAST KAZAKHSTAN: REPORT FROM KAZAKHSTAN AND CHINA BORDER

Fuki Yagi, Maira Kussainova, Buho Hoshino

Central Asia's Affairs 88(4) 23-34 2022 年 12 月 15 日

- (2) The impact of China's Belt and Road Initiative on change and losing of Central Asian oases agricultural land

Kazuki SENO, Christopher MCCARTHY, Maira KUSSAINOVA, Sabir NURTAZIN, Mikoto KANEKO, Nobutake NAKATANI, Satoru HOBARA, James BANFILL, Buho HOSHINO

Journal of Arid Land Studies 32(S) 53-60 2022 年 12 月 査読有り最終著者責任著者

- (3) Preserving the Gobi: Identifying Potential UNESCO World Heritage in Mongolia's Gobi Desert

Christopher McCarthy, Troy Sternberg, Buho Hoshino, James Banfill, Erdenebuyan Enkhjargal, Yuki Konagaya, SimonPhillip

Journal of Asia-Pacific Biodiversity 2022(6) 1-61 2022 年 9 月 査読有り

- (4) Remote Sensing Approach for the Appearance and Disappearance of Oasis Farmland in Kazakhstan.

Buho Hoshino, Kazuki Seno, Maira Kussainova, Nobutake Nakatani, Satoru Hobara.

IEEE IGARSS(2022), 2022 年 7 月 査読有り

・著書

- (1) 頂点捕食者が存在する生態系から見る北海道へオオカミ再導入の可能性

大久保響, 吉村珠美, 山内大樹, 星野仏方

酪農学園大学紀要 47(1) 25-39 2022 年 10 月 最終著者責任著者

・社会貢献

- (1) 国際誌査読

編集

ELSEVIER 社 ELSEVIER Journals 2022 年 1 月 15 日 - 2022 年 12 月 30 日

- (2) 日本沙漠学会第 33 回学術大会実行委員長

企画, 運営参加・支援, 報告書執筆

日本沙漠学会 日本沙漠学会第 33 回学術大会 2022 年 6 月 11 日 - 2022 年 6 月 12 日

准教授 小川 健太

・論文

- (1) Automated Counting of Waterfowl on Water Surface Using UAV Imagery

小川健太, 牛山克巳, 小練史弥

日本リモートセンシング学会誌 42 巻(Supplement 号) S1-S8 2022 年 3 月 筆頭
著者

・著書

(1) 飛躍を遂げるドローン

小川健太, 小野貴司, 小林伸行

ニューカントリー 827 16-19 2023 年 2 月

(2) UAV 画像を用いた水面の水鳥の自動カウント

小川健太, 牛山克巳, 小練史弥

THE JOURNAL OF SURCEY (月刊 測量) 2-5 2022 年 3 月 筆頭著者

(3) UAV 空撮画像を用いたマガンの個体群密度推定及び個体数推定

野村隼平, 根本なぎさ, 小川健太

日本写真測量学会北海道支部令和 3 年度 第 40 回学術講演会 2022 年 3 月 責
任著者

・社会貢献

(1) 鳥類研究のための空飛ぶドローン講座

運営参加・支援

日本鳥学会 日本鳥学会 2022 年度大会 2022 年 11 月 3 日

地球環境保全学

教 授 中谷 暢丈

・論文

(1) The impact of China's Belt and Road Initiative on change and losing of Central Asian
oases agricultural land

Kazuki SENO, Christopher MCCARTHY, Maira KUSSAINOVA, Sabir NURTAZIN,
Mikoto KANEKO, Nobutake NAKATANI, Satoru HOBARA James BANFILL, Buho
HOSHINO

Journal of Arid Land Studies 32(S) 47-54 2022 年 9 月 査読有り

(2) Remote Sensing Approach for the Appearance and Disappearance of Oasis Farmland in
Kazakhstan

Buho Hoshino, Kazuki Seno, Maira Kussainova, Nobutake Nakatani, Satoru Hobara
IGARSS 2022 - 2022 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium
2022 年 7 月 17 日 査読有り

(3) Characteristics of PM2.5 Pollution in Osorno, Chile: Ion Chromatography and
Meteorological Data Analyses

Ayane Nakamura, Nobutake Nakatani, Fumito Maruyama, So Fujiyoshi, Rodrigo
Márquez-Reyes, Ricardo Fernández, Jun Noda

Atmosphere 13(2) 2022 年 2 月 査読有り

- ・ 著書

- ・ 社会貢献

- (1) 資源としての水とその利用

- 講師

- 旭川西高等学校 2022 年 7 月 22 日

教 授 保原 達

- ・ 論文

- (1) Application of the Biolog EcoPlate™ technique for assessing the microbial metabolic diversity in moss profiles of continental Antarctica

- Yudai Nagata, Takashi Osono, Motohiro Hasegawa, Satoru Hobara, Dai Hirose, Yukiko Tanabe, Sakae Kudoh, Masaki Uchida

- Polar Science 100924-100924 2023 年 1 月 査読有り

- (2) Variation in soil chemical properties in relation to vegetation characteristics in a serpentine area of Hokkaido, Japan

- Tomoko Hatanaka, Tomose Ogura, Shuhei Matsuyama, Satoru Hobara

- GEODERMA REGIONAL 31 2022 年 12 月 査読有り最終著者

- (3) The impact of China's Belt and Road Initiative on change and losing of Central Asian oases agricultural land

- Kazuki SENO, Christopher MCCARTHY, Maira KUSSAINOVA, Sabir NURTAZIN, Mikoto KANEKO, Nobutake NAKATANI, Satoru HOBARA, James BANFILL, Buho HOSHINO

- Journal of Arid Land Studies 32(S) 53-60 2022 年 12 月 査読有り

- ・ 著書

- (1) Remote Sensing Approach for the Appearance and Disappearance of Oasis Farmland in Kazakhstan

- Buho Hoshino, Kazuki Seno, Maira Kussainova, Nobutake Nakatani, Satoru Hobara

- IGARSS 2022 - 2022 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium
2022 年 7 月 17 日

- ・ 社会貢献

- (1) 環境講座「必然のつながり」

- 講師

- 札幌東高校定時制 2022 年 11 月

- (2) 大学で学ぶ環境学とは

- 講師

とわの森三愛高等学校 2022 年 3 月

教 授 吉田 磨

- ・論文
- ・著書

(1) 日本の環境研究室 2022

吉田 磨 (担当:共著, 範囲:酪農学園大学 環境地球化学研究室)

公益社団法人 環境科学会 2022 年 10 月

(2) 運輸部門が地球環境に及ぼす影響の一考察 ~公共交通としての北海道の鉄道における課題~

吉田 敬穂, 吉田 磨

酪農学園大学紀要 人文・社会科学編 47(1) 35-37 2022 年 10 月 最終著者責任著者

- ・社会貢献

(1) 江別市地球温暖化対策実行計画策定協議会委員活動

司会, 助言・指導, 情報提供, その他

江別市 江別市地球温暖化対策実行計画策定協議会 2023 年 2 月 15 日

(2) 洞爺湖町まちづくり審議会委員活動

助言・指導, 情報提供

洞爺湖町 洞爺湖町まちづくり審議会 2022 年 8 月 30 日

(3) 洞爺湖町まちづくり審議会委員活動

助言・指導, 情報提供

洞爺湖町 洞爺湖町まちづくり審議会 2022 年 2 月 25 日

(4) 江別市環境審議会委員活動

助言・指導, 情報提供

江別市 江別市環境審議会 2022 年 1 月 21 日

准教授 馬場 賢治

- ・論文

(1) 2020 年度からの小学校学習指導要領における気象学関連事項

馬場賢治

細氷 68 2022 年 12 月 筆頭著者責任著者

(2) スマートフォンやアネロイド気圧計を利用した気圧と空気の重さを考える学習の提案

馬場賢治

理科教育学研究 63(1) 151-160 2022 年 7 月 31 日 査読有り筆頭著者責任著者

- (3) 2016 年台風 10 号接近に伴う日高山脈と石狩山地における降水帯構造
馬場賢治, 猪又淳之助
酪農学園大学紀要 自然科学編 46(2) 81-90 2022 年 3 月 筆頭著者責任著者)
- (4) 地学実験における簡易分光器を用いた光スペクトルの観察の検討
馬場賢治
酪農学園大学紀要. 自然科学編 46(2) 91-96 2022 年 3 月 筆頭著者責任著者

・著書

- (1) 気象学の教科書
稲津將
成山堂書店 2022 年 2 月
 - (2) 降雪事例における地上レーダと GPM/DPR の比較検証
後藤悠介, 篠田太郎, 民田晴也, 久島萌人, 馬場賢治, 高橋暢宏, 坪木和久
日本気象学会大会講演予稿集 2022 年 10 月
 - (3) 地上設置型 Ka バンドレーダーと GPM/KaPR 及び KuPR の比較検証
後藤悠介, 篠田太郎, 民田晴也, 久島萌人, 馬場賢治, 高橋暢宏, 坪木和久
GPM および衛星シミュレータ合同研究集会 2022 年 3 月 4 日
- ・社会貢献
- (1) 理科教育での気象・再エネルギーの取り扱い
講師
気象ビジネス推進コンソーシアム 人材育成ワーキング 2022 年 12 月 16 日
 - (2) 天気予報活用講座
講師
栗山町教育委員会 栗山町民講座 2022 年 3 月 18 日

教 授 遠井 朗子

・論文

・著書

- (1) 考えてみよう先住民族と法
小坂田, 裕子, 深山, 直子, 丸山, 淳子, 守谷, 賢輔 (担当:共著, 範囲:第 3 章 世界遺産一排除から包摂への転換は実現されたか)
信山社 2022 年 12 月 (ISBN: 9784797268119)
- (2) ハイブリッド環境法
西村, 智朗, 山田, 健吾, Otede, Uchralt, 岩崎, 恭彦, 倉澤, 生雄, 鳥谷部, 壤, 遠井, 朗子, 庄村, 勇人, Paik, Yonjae, McElwain, Christopher, 岡松, 暁子 (担当:共著, 範囲:第 9 章 生態系の保全 1. 生物多様性条約一生物多様性の保全と持続可

能な利用（国際法における枠組み）,120-130 頁；Colum⑤環境と貿易,130-134 頁)

嵯峨野書院 2022 年 3 月 (ISBN: 9784782306086)

- (3) CITES における「持続可能な利用」という言説の行方と二つの多様性について
遠井朗子

JWCS 通信 (97) 7-11 2022 年 12 月 招待有り

- (4) 絶滅が危惧される野生動植物の種の国際取引に関するワシントン条約(CITES)の
国内実施 — 野生生物の保全と動物福祉の統合という観点から
遠井朗子

環境管理 58(2) 30-34 2022 年 2 月 招待有り

・社会貢献

准教授 松山 周平

・論文

- (1) Community phylogeny and spatial scale affect phylogenetic diversity metrics in a species-rich rainforest in Borneo.
Seiya Okuno, Tingting Yin, Satoshi Nanami, Shuhei Matsuyama, Koichi Kamiya, Sylvester Tan, Stuart J Davies, Mohizah Mohamad, Takuo Yamakura, Akira Itoh
Ecology and evolution 12(11) e9536 2022 年 11 月
- (2) Soil nutrient and moisture environments and shoot growth of *Quercus crispula* canopy trees in two areas that experienced contrasting effects of deer overabundance over an 11-year period
Ayumi Mizutani, Wakana A. Azuma, Mikoto Kaneko, Shuhei Matsuyama
JOURNAL OF FOREST RESEARCH 27(6) 469-475 2022 年 11 月 査読有り

・著書

- (1) 北海道滝上 錦仙峡お散歩ガイド草花
松山周平 (担当:監修)
滝上町観光協会 2022 年 2 月
- (2) 北海道産セイヨウタンポポの遺伝子型および表現型の多型
松山周平, 松本珠季, 松永高広, 齋藤優衣, 伊東明
日本生態学会大会講演要旨(Web) 69th 2022 年
- (3) 群集系統樹の作成方法は系統多様性の評価に影響する
奥野聖也, YIN TingTing, 名波哲, 伊東明, 上谷浩一, 松山周平, TAN Sylvester, MOHAMAD Mohizha Bt.
日本生態学会大会講演要旨(Web) 69th 2022 年
- (4) 北海道の二次林におけるギンリョウソウのサイズ構造と空間分布の変動

永末透威, 松山周平, 保原達

日本生態学会大会講演要旨(Web) 69th 2022 年

・ 社会貢献

助 教 千葉 崇

・ 論文

- (1) Adverse effects of thyroid-hormone-disrupting chemicals 6-propyl-2-thiouracil and tetrabromobisphenol A on Japanese medaka (*Oryzias latipes*)
Yoshifumi Horie, Takahiro Yamagishi, Jun Yamamoto, Mayumi Suzuki, Yuta Onishi, Takashi Chiba, Shinichi Miyagawa, Anke Lange, Charles R. Tyler, Hideo Okamura, Taisen Iguchi
Comparative Biochemistry and Physiology Part C: Toxicology & Pharmacology
263 109502-109502 2023 年 1 月 査読有り
- (2) Influence of Bisphenol A and 17 β -trenbolone Exposure in *Oryzias* Congeners.
Yoshifumi Horie, Takashi Chiba
Environmental toxicology and chemistry 2022 年 12 月 29 日 査読有り
- (3) Tsunami deposits associated with the 1983 Nihonkai-Chubu earthquake tsunami in coastal forests near Happo Town, Akita Prefecture, Japan
Takashi Chiba, Yuichi Nishimura
Earth, Planets and Space 74(133) 2022 年 9 月 査読有り
- (4) Paleotsunami History of Hachinohe, Northern Japan: A Multiproxy Analysis and Numerical Modeling Approach
Erick R. Velasco-Reyes, Kazuhisa Goto, Daisuke Sugawara, Yuichi Nishimura, Takahiro Shinohara, Takashi Chiba
Progress in Earth and Planetary Science 9(1) 1-29 2022 年 4 月 査読有り

・ 著書

- (1) *Epithemia adnata*, *E. gibba* 及び *E. sorex* の生育可能な塩分範囲
千葉 崇, 堀江好文, 辻 彰洋
日本珪藻学会第 42 回研究集会要旨集 2022 年 11 月
- (2) 北海道阿寒湖北岸域における過去 300 年間の珪藻群集変遷 (予察)
千葉 崇, 長田涼介, 尾山洋一, 長井雅史
日本珪藻学会第 42 回研究集会要旨集 2022 年 11 月
- (3) 2018 年胆振東部地震により北海道厚真町沿岸で発生した噴砂に含まれる珪藻群集
西村裕一, 千葉 崇
日本珪藻学会第 43 回大会講演要旨集 2022 年 6 月

- (4) 北海道当縁川河口干潟における *Pseudopodosira kosugii* の群生とその分布 (速報)
千葉 崇, 西村裕一
日本珪藻学会第 43 回大会講演要旨集 2022 年 6 月
- (5) 完新世古沿岸環境復元と津波堆積物識別を目的とした珪藻群集解析における基礎的問題
千葉 崇
日本地球惑星科学連合 2022 年大会 講演要旨 2022 年 5 月 招待有り
- (6) 沿岸低地を遡上した古津波が残した津波堆積物の性状変化:北海道胆振海岸東部に分布する 17 世紀津波堆積物の例
岩城昂平, 高清水康博, 西村裕一, 千葉 崇
日本堆積学会 2022 年オンライン大会 プログラム・講演要旨 ii 2022 年 3 月
- ・社会貢献
- (1) 上厚真小学校津波防災学習 講師
https://msmy.facebook.com/story.php?story_fbid=5467669003319434&id=311832332236486&m_entstream_source=permalink
- (2) 【苫小牧民報】胆振東部地震から 4 年 海岸に津波の痕跡
<https://www.rakuno.ac.jp/archives/24066.html>
- (3) 【読売新聞】地震津波 児童が地層調べ 上厚真小 専門家招き防災学習
<https://www.rakuno.ac.jp/archives/24183.html>
- (4) 月刊イズム 33 巻 10 号. 2022 年 12 月 1 日珪藻を指標に古地震研究
www.core-nt.co.jp/core_nt/wp-content/uploads/2022/11/ism202212_.pdf

フードシステム専攻 修士課程

●食資源利用システム

農・畜産食品学

准教授 前田 尚之

・論文

- (1) Mitochondrial characteristics of chicken breast muscle affected by wooden breast
Yasuhiro Hasegawa, Marina Hosotani, Miyu Saito, Tatsuki Nagasawa, Yusuke Mori, Takeshi Kawasaki, Michi Yamada, Naoyuki Maeda, Takafumi Watanabe, Tomohito Iwasaki
Comparative Biochemistry and Physiology Part A: Molecular & Integrative Physiology 273 111296-111296 2022 年 11 月 査読有り

- (2) The location of protein oxidation in dystrophic skeletal muscle from the mdx mouse model of Duchenne muscular dystrophy.)
Tomohito Iwasaki, Jessica R Terrill, Kei Kawarai, Yusei Miyata, Takayoshi Tagami, Naoyuki Maeda, Yasuhiro Hasegawa, Takafumi Watanabe, Miranda D Grounds, Peter G Arthur
Acta histochemica 124(8) 151959-151959 2022 年 10 月 18 日 査読有り
- (3) アカエゾマツチップを用いて燻煙したベーコンの品質特性
前田尚之, 久保田麻美, 宮下花林, 長谷川靖洋, 岩崎智仁, 横田 博, 舩津保浩
食肉の科学 63(1) 35-41 2022 年 6 月 査読有り筆頭著者責任著者
- (4) Bisphenol A-sulfate conjugate disrupts AURKA transcription and cell cycle in BeWo cytotrophoblasts.
Jumpei Fujiki, Megumi Uchida, Sakurako Tsunoda, Naoyuki Maeda, Hiroki Inoue, Hiroshi Yokota, Hidetomo Iwano
Molecular and cellular endocrinology 545 111561-111561 2022 年 1 月 15 日 査読有り
- (5) Testicular induced corticosterone synthesis in male rats under fasting stress.
Naoyuki Maeda, Jumpei Fujiki, Yasuhiro Hasegawa, Takahiro Ieko, Taku Miyasho, Tomohito Iwasaki, Hiroshi Yokota
Steroids 177 108947-108947 2022 年 1 月 査読有り筆頭著者
- ・ 著書
 - ・ 社会貢献

●食料政策システム

食料政策論

教授 佐藤 和夫

- ・ 論文
- (1) Hometown effect on consumer preferences for food products
Hideo Aizaki, Kazuo Sato, Tomoaki Nakatani
International Food and Agribusiness Management Review 2023 年 2 月 査読有り
- (2) Japanese attitude toward insects as food: The role of tradition
Kazuo Sato, Noriyuki Ishizuka
Appetite 180 106341-106341 2023 年 1 月 査読有り筆頭著者責任著者
- (3) R package DCchoice for dichotomous choice contingent valuation: a contribution to open scientific software and its impact
Hideo Aizaki, Tomoaki Nakatani, Kazuo Sato, James Fogarty

Japanese Journal of Statistics and Data Science 5 871-884 2022 年 7 月 26 日 査読有り

- ・ 著書
- ・ 社会貢献

(1) 統計学はどう使われているか

講師

札幌市立平岸高等学校 2022 年 11 月 8 日

食品流通論

教 授 尾碕 亨

- ・ 論文
- ・ 著書
- ・ 社会貢献

●経営管理システム

経営管理論

教 授 阿部 茂

- ・ 論文
- ・ 著書
- ・ 社会貢献

食品情報システム論

准教授 正木 卓

- ・ 論文

(1) 北海道における一般企業の農業参入経過とその意義－食品関連企業の参入を中心に－

中山忠彦, 正木卓, 長尾正克, 坂下明彦

フロンティア農業経済研究 24(2) 50-57 2022 年 9 月 査読有り

- ・ 著書

(1) 内地からみた北海道の農業と農協

(担当:分担執筆, 範囲:北海道農業の現局面)

筑波書房 2023 年 1 月 (ISBN: 9784811906409)

(2) 第 5 次地域農業振興計画

正木 卓

青森農業協同組合第5次地域農業振興計画（JA 青森中央会受託調査研究）105-121 2022 年 6 月

（3）農家意向調査結果報告書

正木 卓

せたな町農業振興ビジョンアンケート調査事業 1-31 2022 年 3 月

（4）法人継承に向けた税理士の対応―道南・G 税理士事務所のケーススタディー―

正木卓・井上誠司

農地所有適格法人の事業承継支援に関する調査研究報告書 32-37 2022 年 3 月

・社会貢献

准教授 三谷 光照

・論文

・著書

・社会貢献

食品栄養科学専攻 修士課程

●加工特性

食品加工特性学

教授 竹田 保之

・論文

・著書

・社会貢献

教授 船津 保浩

・論文

（1）酵素剤添加しよつつの物理化学的特性と官能的品質に及ぼす発酵スターターと食塩濃度の影響

高橋徹，塚本研一，渡辺隆幸，佐々木康子，上原健二，須藤あさみ，小林侑太郎，船津保浩

日本食品科学工学会誌 70(2) 85-93 2023 年 2 月 査読有り最終著者責任著者

（2）プロバイオティクス乳酸菌を含有した発酵食肉製品の品質特性

栃原 孝志，久保田 真規，橋谷田 羅奈，鈴木 眸美，小林 幸光，宮崎 早花，竹田，竹田 保之，船津 保浩

食肉の科学 63(No.2) 125-132 2022 年 11 月 30 日 査読有り最終著者責任著者

- (3) アカエゾマツチップを用いて燻煙したベーコンの品質特性
前田 尚之, 久保田 麻美, 宮下 花林, 長谷川 靖洋, 岩崎 智仁, 横田 博, 舩津
保浩

食肉の科学 63(1) 35-41 2022 年 8 月 査読有り最終著者

- (4) しょつつる製造時のもろみと最終製品の品質に及ぼす酵素剤添加の影響
原田 渉弘, 塚本 研一, 高橋 徹, 田中 彰, 早坂 浩史, 舩津 保浩
New Food Industry 64(4) 243-251 2022 年 4 月 査読有り責任著者

・著書

- (1) 北海道産食材ハンドブック 第8版
荒川義人, 加藤淳, 高井瑞枝, 相川宗厳, 蛭谷幸司, 宜寿次盛次, 黒川晃次, 島崎
敬次, 平井剛, 舩津保浩, 三宅俊秀 (担当:共著, 範囲:藻類・魚介類)
札幌商工会議所 2022 年 7 月 (ISBN: 9784881930304)

・社会貢献

- (1) 藻類・魚介類
講師
札幌商工会議所 第36回北海道フードマイスター検定受験対策セミナー 2023
年1月14日

- (2) 藻類・魚介類
講師
札幌商工会議所 第35回北海道フードマイスター検定受験対策セミナー 2022
年9月10日

- (3) 食品ロスはどう削減する？- 食品ロスを再利用するための発酵技術 -
講師
茨城県立水戸農業高等学校 出張セミナー (WEB 講義) 2022 年 9 月 8 日

- (4) 農業概論
講師
酪農学園大学 2022 年度酪農学園大学免許法認定講習 2022 年 8 月 27 日 -
2022 年 8 月 27 日

- (5) 食品学
講師
北海道全調理師会 第4ブロック 令和4年度 調理師試験準備講習会 2022 年 7
月 6 日

- (6) 藻類・魚介類
講師
札幌商工会議所 第34回北海道フードマイスター検定受験対策セミナー 2022
年1月8日

講 師 栃原 孝志

・論文

- (1) プロバイオティクス乳酸菌を含有した発酵食肉製品の品質特性

栃原 孝志, 久保田 真規, 橋谷田 羅奈, 鈴木 眸美, 小林 幸光, 宮崎 早花, 竹田, 竹田 保之, 舩津 保浩

食肉の科学 63(No.2) 125-132 2022 年 11 月 30 日 査読有り筆頭著者

・著書

・社会貢献

- (1) セミナー 農福連携を現場で実践するにあたっての実務的課題 企画・コーディネート 主催・江別農福連携協議会 2022 年 3 月 7 日 (酪農学園大学)

- (2) 北海道畜産草地学会 会計幹事 2021 年 4 月～現在に至る

- (3) 模擬授業講師 北海道釧路明輝高校 2022 年 7 月 20 日 (釧路市)

- (4) 元気！ミルク大学 授業・実習講師 2022 年 8 月 10 日 (札幌市・エルプラザ)

- (5) 学内共同研究成果報告会 研究発表 2022 年 8 月 24 日 (江別市・酪農学園大学)

- (6) 模擬授業講師 出張オープンキャンパス 2022 年 8 月 29 日 (東京都・TKP 秋葉原プレミア)

- (7) アグリシーズセミナー講師 農水省・GTBH 主催 2022 年 9 月 13 日 (札幌市北農ビル)

- (8) アグリビジネス創出フェア 2022 ブース展示・発表 (北大ロバストとして) 2022 年 10 月 26-28 日

- (9) 2022 アグリビジネス創出フェア in Hokkaido 北大ロバストとしてブース展示・発表 ※ブースプレゼンテーションにおいて優秀賞を受賞 (札幌市サッポロファクトリー)

- (10) 北海道栄養士会日高支部 支部会における講演講師 (リモート) 2022 年 12 月 16 日

食品物性学

教 授 金田 勇

・論文

・著書

・社会貢献

准教授 川端 庸平

- ・論文
- ・著書
- ・社会貢献

●栄養機能

食品栄養機能化学

教 授 小野寺 秀一

- ・論文
 - (1) Functional characterization and vacuolar localization of fructan exohydrolase derived from onion (*Allium cepa*)
Satoshi Oku, Keiji Ueno, Yukiko Sawazaki, Tomoo Maeda, Yutaka Jitsuyama, Takashi Suzuki, Shuichi Onodera, Kaiken Fujino, Hanako Shimura
Journal of Experimental Botany 73(14) 4908-4922 2022 年 5 月 査読有り
 - (2) アスパラガス収穫期の養分消費を担うフルクタン加水分解酵素
上野敬司, 園田高広, 吉田みどり, 川上顕, 塩見徳夫, 小野寺秀一
応用糖質科学 12 117-122 2022 年 5 月
- ・著書
- ・社会貢献
 - (1) 楽しい理科実験講座「でんぷんおもしろ実験室」
講師
酪農学園大学社会連携センター 2022 年度市民公開講座
2022 年 7 月 30 日

准教授 上野 敬司

- ・論文
 - (1) Functional characterization and vacuolar localization of fructan exohydrolase derived from onion (*Allium cepa*)
Satoshi Oku, Keiji Ueno, Yukiko Sawazaki, Tomoo Maeda, Yutaka Jitsuyama, Takashi Suzuki, Shuichi Onodera, Kaiken Fujino, Hanako Shimura
Journal of Experimental Botany 73(14) 4908-4922 2022 年 8 月 11 日 査読有り筆頭著者責任著者
 - (2) アスパラガス収穫期の養分消費を担うフルクタン加水分解酵素
上野敬司, 園田高広, 吉田みどり, 川上顕, 塩見徳夫, 小野寺秀一
応用糖質科学 12(2) 117-122 2022 年 5 月 20 日 査読有り
- ・著書

- (1) タバコ BY-2 培養細胞を用いたタマネギ由来フルクタン代謝酵素の細胞内局在観察
澤崎由紀子, 上野敬司, 奥聡史, 奥聡史, 小野寺秀一, 藤野介延, 志村華子
園芸学研究 別冊 21(1) 2022 年
- (2) In vitro のリンゴ果肉組織で外与の[1-13C]ソルビトールから生合成されたスクロース分布の MALDI-TOF MS イメージングによる可視化
山下溜花, 藤木卓巳, 堀川謙太郎, 春日純, 上野敬司, 実山豊, 鈴木卓
園芸学研究 別冊 21(2) 2022 年
- (3) アスパラガス若茎頂部のフルクトオリゴ糖量
上野敬司, 今田果実, 佐藤日向, 菅原佑花, 松井来夢, 家山麻希, 園田高広, 小野寺秀一
園芸学研究 別冊 21(2) 2022 年

・社会貢献

食品機能生化学

教授 岩崎 智仁

・論文

- (1) Biological properties of Staphylococcus virus ΦSA012 for phage therapy
Jumpei Fujiki, Tomohiro Nakamura, Keisuke Nakamura, Keita Nishida, Yurika Amano, Yusaku Watanabe, Satoshi Gondaira, Masaru Usui, Masaru Shimizu, Kazuhiko Miyanaga, Shinya Watanabe, Tomohito Iwasaki, Kotaro Kiga, Tomoko Hanawa, Hidetoshi Higuchi, Teiji Sawa, Yasunori Tanji, Yutaka Tamura, Longzhu Cui, Hidetomo Iwano
Scientific Reports 12(1) 2022 年 12 月 9 日
- (2) Sodium butyrate administration modulates the ruminal villus height, inflammation-related gene expression, and plasma hormones concentration in dry cows fed a high-fiber diet
Fukumori Rika, Doi Kazuya, Mochizuki Taisei, Oikawa Shin, Gondaira Satoshi, Iwasaki Tomohito, Izumi Kenichi
Animal Science Journal Accepted(1) 2022 年 10 月 査読有り
- (3) Morphological analysis of cell distribution and network structure via gap junctions in swine corneal stroma
Nobutaka HOSHINO, Kazushige TAKEHANA, Marina HOSOTANI, Kiyokazu KAMETANI, Tomohito IWASAKI, Yasuhiro HASEGAWA, Hiromi UEDA, Takafumi WATANABE
Journal of Veterinary Medical Science 84(12) 1621-1632 2022 年 10 月 査読有り

- (4) The location of protein oxidation in dystrophic skeletal muscle from the mdx mouse model of Duchenne muscular dystrophy
Tomohito Iwasaki, Jessica R Terrill, Kei Kawarai, Yuki Miyata, Takayoshi Tagami, Naoyuki Maeda, Yasuhiro Hasegawa, Takafumi Watanabe, Miranda D Grounds, Peter G Arthur
Acta Histochemica 124(8) 151959-151959 2022 年 10 月 査読有り筆頭著者
- (5) Mitochondrial characteristics of chicken breast muscle affected by wooden breast
Yasuhiro Hasegawa, Marina Hosotani, Miyu Saito, Tatsuki Nagasawa, Yusuke Mori, Takeshi Kawasaki, Michi Yamada, Naoyuki Maeda, Takafumi Watanabe, Tomohito Iwasaki
Comparative Biochemistry and Physiology, Part A Accepted 2022 年 8 月 査読有り責任著者
- (6) アカエゾマツチップを用いて燻煙したベーコンの品質特性
前田尚之, 久保田麻美, 宮下花林, 長谷川靖洋, 岩崎智仁, 横田博, 船津保浩
食肉の科学 63(1) 35-41 2022 年 7 月 査読有り
- (7) Three-dimensional structural analysis of mitochondria composing each subtype of fast-twitch muscle fibers in chicken.
Sachi Makida, Kiyokazu Kametani, Marina Hosotani, Naoki Takahashi, Tomohito Iwasaki, Yasuhiro Hasegawa, Tomohide Takaya, Hiromi Ueda, Takafumi Watanabe
The Journal of veterinary medical science 84(6) 809-816 2022 年 4 月 14 日
- (8) Whole-Genome Sequencing of *Pasteurella multocida* Strain Pm1, Isolated from a Calf
Satoshi Gondaira, Jumpei Fujiki, Yuki Hirano, Ryo Murata, Ikuo Uchida, Masaru Usui, Tomohito Iwasaki, Tamaki Okabayashi, Hidetomo Iwano, Hidetoshi Higuchi
Microbiology Resource Announcements 2022 年 3 月 28 日
- (9) Effects of intra-articular inoculation with *Mycoplasma bovis* on immunological responses in calf joints
Koji Nishi, Yuki Hirano, Ayano Sato, Ayako Eguchi, Kazuya Matsuda, Miyuki Toda, Takafumi Watanabe, Tomohito Iwasaki, Naoki Takahashi, Marina Hosotani, Reina Watanabe, Toshihide Kato, Hiromichi Ohtsuka, Satoshi Gondaira, Hidetoshi Higuchi
Veterinary Immunology and Immunopathology 244 110364-110364 2022 年 2 月 招待有り
- (10) Immune Response in Chickens Vaccinated with Freeze-Thawed or Warmed Water-in-Oil Vaccine
Takeshi Kawasaki, Tomohito Iwasaki, Takafumi Watanabe, Yasuhiro Hasegawa, Marina Hosotani, Michi Yamada
The Journal of Poultry Science 2022 年

- ・ 著書

- ・ 社会貢献

- (1) 札幌市立開成中等教育学校 先端科学特論「電子顕微鏡実習」

- 講師

- 2022 年 8 月 20 日

●健康栄養

健康栄養学

教 授 大谷 克城

- ・ 論文

- (1) 日本の補体検査の進展

- 大谷 克城, 若宮 伸隆, 日高 義彦, 井上 徳光

- 日本臨床 80(11) 1865-1871 2022 年 11 月

- (2) 骨形成と補体 3MC 症候群と Periodontal Ehlers-Danlos 症候群

- 若宮 伸隆, 大谷 克城

- 日本臨床 80(11) 1741-1746 2022 年 11 月

- ・ 著書

- ・ 社会貢献

- (1) 第 58 回日本補体学会学術集会

- 集会長

- 酪農学園大学 2022 年 8 月 19 日-20 日

教 授 須賀 朋子

- ・ 論文

- ・ 著書

- (1) 幼児期の愛着形成重要「DV や虐待」考える研修会 水戸

- 須賀朋子

- 茨城新聞 23 面 2023 年 2 月 11 日

- (2) 連載 第 3 回 セーフティプロモーションと私

- 須賀朋子

- 日本セーフティプロモーション学会学術誌 15(1) 6-10 2022 年 4 月 招待有り

- 筆頭著者

- ・ 社会貢献

- (1) DV,虐待・愛着障害について

- 講師

NPO 法人ウイメンズネット「らいず」、水戸市、常磐大学共催 常盤大学
2023 年 2 月 5 日

- (2) 地域で寄り添った支援～愛着に焦点をあてて～佐藤喜和

講師

札幌市東区保健福祉部 2023 年 1 月 31 日

- (3) 愛着が心と脳に与える影響

講師

札幌市家庭福祉相談職員等研修 2023 年 1 月 30 日

- (4) DV,虐待・愛着障害について

講師

日本赤十字秋田看護大学 看護学部 フォレンジック看護論特別講義(オンライン)
2023 年 1 月 17 日

- (5) DV,虐待が心と脳に与える影響

講師

釧路市男女平等参画センター 2022 年 12 月 9 日

- (6) デート DV 防止に向けて～愛着との関係から考える～

講師

横浜市男女共同参画センター、横浜市教育委員会 横浜市教員研修(2 回オンライン講座)
2022 年 11 月 16 日 - 2022 年 11 月 30 日

- (7) 多様性を認め合い、人としての在り方生き方を学ぶ ～愛着の問題を通して～

講師

北海道清里高校 全校生徒 2022 年 10 月 21 日

- (8) 性の健康講座：デート DV 予防、愛着の問題

講師

北海道網走桂陽高校 出張セミナー 2022 年 9 月 20 日

- (9) 思春期講話：DV と愛着の関係

講師

札幌市立太平中学校 2022 年 9 月 7 日

- (10) 虐待、DV と地域社会

講師

北海道立女性相談援助センター 札幌エルプラザ 2022 年 5 月 24 日

- (11) DV 予防と愛着

講師

北海道保育・福祉大学校 2022 年 5 月 11 日

- (12) DV,虐待と愛着の問題

講師

第 34 回 NPO 北海道思春期支援ネットワーク兼北翔大学円山キャンパス連続市民講座 zoom での講演 2022 年 1 月 29 日

(13) DV と愛着の関係

講師

日本赤十字秋田看護大学 看護学部 フォレンジック看護論特別講義 2022 年 1 月 17 日

(14) DV と愛着の関係

講師

北海道岩見沢市男女共同参画課 岩見沢市生涯学習センターいわなび 2022 年 1 月 16 日

教授 山口 太一

・論文

(1) 積雪地での冬期から春期にかけてのトレーニングにおける走行距離と走行速度が 5000m 走パフォーマンスに及ぼす影響

瀧澤一騎, 山口太一, 柴田啓介

北海道体育学研究 57 57-62 2022 年 11 月 査読有り

(2) 前日の水分摂取制限が運動前の糖質溶液摂取に伴う運動誘発性低血糖に及ぼす影響

藤江衣織, 垣内ちひろ, 嶋森昂太, 池永和奏, 山崎祐太, 吉本香乃, 東郷将成, 瀧澤一騎, 木村宣哉, 柴田啓介, 山口太一

北海道体育学研究 57 49-55 2022 年 11 月 査読有り責任著者

・著書

(1) トレーニング指導者テキスト実践編 3 訂版

NPO 法人 日本トレーニング指導者協会 (担当:分担執筆, 範囲:第 3 章 6 節 1 項 柔軟性向上トレーニング)

大修館書店 2023 年 2 月 2 日 (ISBN: 4469269484)

(2) 人間の許容・適応限界事典

(担当:分担執筆, 範囲:関節可動域 (柔軟性), ウォーミングアップ, クーリングダウン)

朝倉書店 2022 年 11 月 11 日 (ISBN: 4254102968)

(3) ケースで学ぶスポーツ栄養学 (みらいスポーツライブラリー)

清野 隼, 虎石 真弥, 山口 太一 (担当:共編者(共編著者), 範囲:第 11 章 スポーツ科学とスポーツ栄養学とのかかわり)

みらい 2022 年 9 月 1 日 (ISBN: 4860155815)

・社会貢献

(1) トレーニングと栄養補給について

講師

北海道教育庁 高校生フィジカル&メンタル向上セミナー 2022年7月30日 -
2022年11月6日

准教授 小林 道

・論文

(1) 地域住民におけるヘルスリテラシーと食品群別摂取量・栄養素等摂取量の関連

木村宣哉, 小林 道, 杉村留美子

栄養学雑誌 80(3) 158-168 2022年6月 査読有り

(2) 地域住民における飲酒量と食品群別摂取量の関連 江別市民の食と健康に関する実態調査

小林 道, 野田 真白, 五十嵐 直人

北海道公衆衛生学雑誌 35(2) 59-65 2022年3月 査読有り筆頭著者

・著書

(1) 管理栄養士養成テキストブック 給食経営管理論 [第3版]

上地 加容子, 氏家 幸子, 香西 はな, 小林 道, 佐川 敦子, 作田 はるみ, 徳永 佐枝子, 成瀬 祐子, 西村 一弘, 福本 恭子, 細矢 理奈, 南 亜紀 (担当:共著, 範囲:第14章 自衛隊・矯正施設, 251-258)

・社会貢献

(1) バランスの良い食事ってどんなこと？

講師

北海道江別高校 出張セミナー 2022年11月10日

(2) バランスの良い食事とは？

講師

酪農学園大学社会連携センター 2022年度市民公開講座 2022年5月28日

(3) 2021年度研究教育全国リーダー研修会

運営参加・支援

日本栄養士会 2022年2月12日

(4) 令和時代における給食施設の危機管理対策のあり方

講師

北海道網走保健所 令和3年度網走保健所管内 特定給食施設等栄養管理研修会
2022年2月2日

准教授 杉村 留美子

・論文

- (1) 地域住民におけるヘルスリテラシーと食品群別摂取量・栄養素等摂取量の関連
木村宣哉, 小林 道, 杉村留美子
栄養学雑誌 80(3) 158-168 2022 年 6 月 査読有り
- (2) Healthy Aging: Comparative Analysis of Local Perception and Diet in Two Health Districts of Côte d'Ivoire and Japan
B. Bonfoh, B. V. Koné, Y. D. Koffi, T. Miyama, Y. Fujimoto, G. Fokou, J. Zinsstag, R. Sugimura, K. Makita
Front. Aging 25 April 2022 1-12 2022 年 4 月 査読有り
- ・ 著書
- ・ 社会貢献
 - (1) 食育ってなに？～子どもと楽しく食べるために～
講師
第2 大麻こども園父母と先生の会 2022 年 11 月 9 日
 - (2) 第 14 回治療食等献立・調理技術コンテスト審査委員
北公益社団法人日本メディカル協会 2022 年 8 月 5 日
 - (3) 管理栄養士って、どんな仕事？行動科学を用いた栄養教育を体験しよう
講師
旭川永嶺高等学校 出前講座 2022 年 7 月 21 日
 - (4) 管理栄養士って、どんな仕事？
講師
とわの森三愛高等学校 進路ガイダンス 2022 年 3 月 1 日
 - (5) 旬を楽しもう
ガスだより寄稿
旭川ガス 2022 年 1 月-2022 年 3 月
 - (6) 札幌市学校給食運営委員会
2021 年 7 月 -現在

講 師 柴田 啓介

- ・ 論文
 - (1) Comparison in repetitions to failure between concentric-only and eccentric-only dumbbell arm curl exercise at four different relative intensities
Keisuke Shibata, Taichi Yamaguchi, Kazuki Takizawa, Kazunori Nosaka
Journal of Strength & Conditioning Research, accepted 2022 年 11 月
 - (2) 前日の水分摂取制限が運動前の糖質溶液摂取に伴う運動誘発性低血糖に及ぼす影響

藤江衣織, 垣内ちひろ, 嶋森昂太, 池永和奏, 山崎祐太, 吉本香乃, 東郷将成, 瀧澤一騎, 木村宣哉, 柴田啓介, 山口太一

北海道体育学研究 57 49-55 2022 年 11 月 査読有り

- (3) 積雪地での冬期から春期にかけてのトレーニングにおける走行距離と走行速度が 5000m 走パフォーマンスに及ぼす影響

瀧澤一騎, 山口太一, 柴田啓介

北海道体育学研究 57 57-62 2022 年 11 月 査読有り

・ 著書

・ 社会貢献

- (1) 身体づくり～トレーニングと栄養について～

講師

北海道教育庁 高校生フィジカル&メンタル向上セミナー 2022 年 7 月 30 日 - 2022 年 10 月 20 日

- (2) 試合で勝つための筋トレ講座～筋トレ研究最前線～

講師

北海道浜頓別高校 浜頓別高校 進路体験学習 2022 年 6 月 23 日

- (3) 自宅でもできる運動講座

講師

酪農学園大学社会連携センター地域連携課 2021 年度市民公開講座 2021 年 11 月 1 日 - 2022 年 3 月 31 日

臨床栄養学

教 授 石井 智美

・ 論文

- (1) ユーラシア東部地域・南部地域における牧畜民・遊牧民の家畜由来の産物利用

石井智美

酪農学園大学紀要 47(1) 7-23 2022 年 10 月 10 日 筆頭著者

・ 著書

- (1) 新型コロナウイルスに負けない食事とからだ～食べて元気！フレイル予防～

石井 智美

江別市介護保険課 2022 年 4 月

- (2) 生きものと食

石井智美

北海道女性研究者の会 2022 年 3 月

- (3) 乳糖不耐症を考える

石井智美

酪農学園大学社会連携センター 酪農 PLUS 2022 年 3 月

(4) 食べることはヒトを幸せにする

石井智美

酪農学園大学社会連携センター 2022 年 3 月 (ISBN: 9784902786323)

(5) 海外のユネスコ無形文化遺産（酒類関係）に関する調査業務

国際開発センター (担当:監修, 範囲:馬乳酒の伝統的なつくり方と関連づいた慣習)

株式会社 国際開発センター 2022 年 2 月

・ 社会貢献

(1) ミルクでわくわく レシピ提供

講師, 助言・指導, 実演

旭川ガス 2022 年 6 月 - 現在

教 授 萩原 克郎

・ 論文

(1) Identification of three novel genes in Phenuiviridae detected from Aedes mosquitoes in Hokkaido, Japan.

Leo Uchida, Yoshimi Sakurai, Makoto Shimooka, Ronald Enrique Morales-Vargas, Katsuro Hagiwara, Yasukazu Muramatsu

Japanese journal of infectious diseases 2022 年 9 月 30 日

(2) Anti-inflammatory effect a specific Lactiplantibacillus plantarum in an ovalbumin-induced asthma model.

Shigefumi Kishida, Yuko Kato-Mori, Minoru Okamoto, Katsuro Hagiwara

Microbiology and immunology 66(9) 442-452 2022 年 9 月

(3) Stability of enveloped and nonenveloped viruses in hydrolyzed gelatin liquid formulation.

Francois Marie Ngako Kadji, Kazuki Kotani, Hiroshi Tsukamoto, Yosuke Hiraoka, Katsuro Hagiwara

Virology journal 19(1) 94-94 2022 年 5 月 27 日

・ 著書

(1) 家畜防疫に関わるシンポジウム BL オンライン実習について酪農学園大学での取り組み事例紹介

萩原 克郎, 安藤 達哉, 蒔田 浩平

日本獣医学会学術集会講演要旨集 165 回 [O2A-03] 2022 年 9 月

(2) 機能性乳酸菌 LP1 株の新生子牛への投与による育成効果

大澤 和正, 田原口 咲弥, 伊藤 千暁, 瀧野 祥司, 萩原 克郎

北海道獣医師会雑誌 66(8) 261-261 2022 年 8 月

- (3) ボルナ病ウイルス(BoDV-1)は持続感染雄ラットのテストステロン産生を低下させる

田原口沙弥, 前田沙優里, 岡本実, 萩原克郎

日本ウイルス学会学術集会プログラム・予稿集(Web) 69th 2022 年

・社会貢献

●食環境管理

食品微生物管理学

教 授 山 口 昭 弘

・論文

- (1) A model study for contributing factors of the fermentation of qvevri wine

Soichiro Takahashi, Hudagula Hudagula, Noriko Minami, Naoko Maeno, Kuniko

Yoshida, Syuichi Onodera, Yasuyuki Takeda, Tsuyoshi Tobiyama, Tsuguya Nakamura,

Junshi Hanai, Toshihiro Tanaka, Tadayuki Uramoto, Ryosuke Kondo, Akihiro

Yamaguchi

Food Control (in press) 2023 年 査読有り責任著者

- (2) A comparative study on fungal diversity in organic and conventionally cultivated lemons during accelerated storage

Kuniko Yoshida, Takeshi Ueno, Kentaro Koito, Dagula Hu, Akihiro Yamaguchi

Current Microbiology (in press) 2022 年 査読有り責任著者

・著書

- (1) 高ポリフェノール自生きのこクロカワの機能性評価

山本帆乃佳, 山口昭弘

北海道きのこアドバイザーの会会報 15 2022 年 5 月 招待有り

・社会貢献

- (1) 農林水産省産学連携支援コーディネーター

助言・指導

グリーンテクノバンク北海道 2022 年 6 月 10 日 - 現在

- (2) 地理的表示「北海道」ワインの揮発酸分析試験

運営参加・支援

地理的表示「北海道」使用管理委員会 2019 年 10 月 31 日 - 現在

准教授 村松 圭

・論文

- ・ 著書
- ・ 社会貢献

食品環境汚染学

教 授 能 田 淳

- ・ 論文
 - (1) Changes in CCN activity of ship exhaust particles induced by fuel sulfur content reduction and wet scrubbing Diversity 13(10) 475-475 2021 年 9 月 28 日
Luis F. E. d. Santos, Kent Salo, Xiangrui Kong, Jun Noda, Thomas B. Kristensen, Takuji Ohigashi, Erik S. Thomson
Environmental Science: Atmospheres 2022 年 11 月 査読有り
 - (2) Long-range transport of airborne bacteria over East Asia: Asian dust events carry potentially nontuberculous Mycobacterium populations
Teruya Maki, Jun Noda, Kozo Morimoto, Kazuma Aoki, Yasunori Kurosaki, Zhongwei Huang, Bin Chen, Atsushi Matsuki, Hiroki Miyata, Satoshi Mitarai
Environ Int. 2022 Oct;168:107471. doi: 10.1016/j.envint.2022.107471.
 - (3) Characteristics of PM2.5 Pollution in Osorno, Chile: Ion Chromatography and Meteorological Data Analyses
Ayane Nakamura, Nobutake Nakatani, Fumito Maruyama, So Fujiyoshi, Rodrigo Márquez-Reyes, Ricardo Fernández, Jun Noda
Atmosphere 13(2) 168-168 2022 年 1 月 20 日 査読有り責任著者
- ・ 著書
- ・ 社会貢献

食生産利用科学専攻 博士課程

植物資源生産学

教 授 三 枝 俊 哉

- ・ 論文
 - (1) 北海道のウシ放牧草地における放牧期延べ体重に対応した施肥適量
三枝俊哉, 金田学, 小田島究路, 西道由紀子, 松本武彦, 大坂郁夫
日本草地学会誌 68(2) 73-84 2022 年 10 月 査読有り筆頭著者
- ・ 著書
 - (1) 肥料の無駄減らす”定量的”な草地肥培管理法
三枝俊哉

デーリィマン 72(12) 47-49 2022 年 12 月 招待有り筆頭著者

(2) 土壌診断と有機物施用に基づく施肥対応の効果

三枝俊哉

デーリィマン 72(4) 36-39 2022 年 4 月 招待有り筆頭著者

・社会貢献

教 授 澤本 卓治

・論文

・著書

(1) 資料：みんなのミニレビュー「これまでの研究活動を振り返って」

澤本卓治

土壌の物理性 150 55-55 2022 年 3 月

・社会貢献

教 授 園田 高広

・論文

(1) アスパラガス収穫期の養分消費を担うフルクタン加水分解酵素

上野敬司, 園田高広, 吉田みどり, 川上颯, 塩見徳夫, 小野寺秀一

応用糖質科学 12(2) 2022 年

・著書

(1) 機を知るは農の始まりにして終わりなり-健土健民入門実習作物編-

(担当:共著)

酪農学園大学社会連携センター 2022 年 4 月

(2) アスパラガス若茎頂部のフルクトオリゴ糖量

上野敬司, 今田果実, 佐藤日向, 菅原佑花, 松井来夢, 家山麻希, 園田高広, 小

野寺秀一

園芸学研究 別冊 21(2) 2022 年

・社会貢献

(1) 美幌町伏せ込み促成栽培アスパラガスの巡回指導会

助言・指導

JA 美幌 2022 年 12 月 13 日

教 授 星野 仏方

・論文

(1) SUSTAINABLE LAND MANAGEMENT IN CORN FARMLAND, SOUTHEAST

KAZAKHSTAN: REPORT FROM KAZAKHSTAN AND CHINA BORDER

Fuki Yagi, Maira Kussainova, Buho Hoshino

Central Asia's Affairs 88(4) 23-34 2022 年 12 月 15 日

- (2) The impact of China's Belt and Road Initiative on change and losing of Central Asian oases agricultural land

Kazuki SENO, Christopher MCCARTHY, Maira KUSSAINOVA, Sabir NURTAZIN, Mikoto KANEKO, Nobutake NAKATANI, Satoru HOBARA, James BANFILL, Buho HOSHINO

Journal of Arid Land Studies 32(S) 53-60 2022 年 12 月 査読有り最終著者責任著者

- (3) Preserving the Gobi: Identifying Potential UNESCO World Heritage in Mongolia's Gobi Desert

Christopher McCarthy, Troy Sternberg, Buho Hoshino, James Banfill, Erdenebuyan Enkhjargal, Yuki Konagaya, SimonPhillip

Journal of Asia-Pacific Biodiversity 2022(6) 1-61 2022 年 9 月 査読有り

- (4) Remote Sensing Approach for the Appearance and Disappearance of Oasis Farmland in Kazakhstan.

Buho Hoshino, Kazuki Seno, Maira Kussainova, Nobutake Nakatani, Satoru Hobara.

IEEE IGARSS(2022), 2022 年 7 月 査読有り

・著書

- (1) 頂点捕食者が存在する生態系から見る北海道へオオカミ再導入の可能性
大久保響, 吉村珠美, 山内大樹, 星野仏方

酪農学園大学紀要 47(1) 25-39 2022 年 10 月 最終著者責任著者

・社会貢献

- (1) 国際誌査読

編集

ELSEVIER 社 ELSEVIER Journals 2022 年 1 月 15 日 - 2022 年 12 月 30 日

- (2) 日本沙漠学会第 33 回学術大会実行委員長

企画, 運営参加・支援, 報告書執筆

日本沙漠学会 日本沙漠学会第 33 回学術大会 2022 年 6 月 11 日 - 2022 年 6 月 12 日

教授 保原 達

・論文

- (1) Application of the Biolog EcoPlate™ technique for assessing the microbial metabolic diversity in moss profiles of continental Antarctica

Yudai Nagata, Takashi Osono, Motohiro Hasegawa, Satoru Hobara, Dai Hirose,
Yukiko Tanabe, Sakae Kudoh, Masaki Uchida

Polar Science 100924-100924 2023 年 1 月 査読有り

- (2) Variation in soil chemical properties in relation to vegetation characteristics in a
serpentine area of Hokkaido, Japan

Tomoko Hatanaka, Tomose Ogura, Shuhei Matsuyama, Satoru Hobara

GEODERMA REGIONAL 31 2022 年 12 月 査読有り最終著者

- (3) The impact of China's Belt and Road Initiative on change and losing of Central Asian
oases agricultural land

Kazuki SENO, Christopher MCCARTHY, Maira KUSSAINOVA, Sabir NURTAZIN,
Mikoto KANEKO, Nobutake NAKATANI, Satoru HOBARA, James BANFILL, Buho
HOSHINO

Journal of Arid Land Studies 32(S) 53-60 2022 年 12 月 査読有り

・ 著書

- (1) Remote Sensing Approach for the Appearance and Disappearance of Oasis Farmland in
Kazakhstan

Buho Hoshino, Kazuki Seno, Maira Kussainova, Nobutake Nakatani, Satoru Hobara

IGARSS 2022 - 2022 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium
2022 年 7 月 17 日

・ 社会貢献

- (1) 環境講座「必然のつながり」

講師

札幌東高校定時制 2022 年 11 月

- (2) 大学で学ぶ環境学とは

講師

とわの森三愛高等学校 2022 年 3 月

教 授 森 志郎

・ 論文

- (1) 余市岳におけるエゾコザクラの葉緑体ゲノムの遺伝変異とその形態

原悠里, 我妻尚広, 岡本吉弘, 森志郎

日本緑化工学誌 48(1) 51-55 2022 年 8 月 査読有り

・ 著書

- (1) 機を知るは農の始めにして終りなり : 健土健民入門実習

小宮, 道士, 岡本, 吉弘, 亀岡, 笑, 小八重, 善裕, 澤本, 卓治, 三枝, 俊哉, 園田,
高広, 森, 志郎, 薦田, 優香, 中平, 賢吾, 山口, 剛典, 川岸, 孝博, 川端, 幸枝

酪農学園大学社会連携センター 2022 年 4 月 (ISBN: 9784902786316)

- (2) 花芽分化期の高温遭遇がスプレーカーネーション‘チェリーテッシノ’の切り花品質に及ぼす影響

森志郎, 珍田由香里

酪農学園大学紀要. 自然科学編 46(2) 57-61 2022 年 3 月 筆頭著者責任著者

・社会貢献

- (1) 札幌市の設置する都市公園及び札幌市豊平川さけ科学館に係る指定管理者及び公募対象公園施設設置等予定者選定委員会

その他

2022 年 5 月 10 日 - 2023 年 3 月 31 日

- (2) 第 42 回北海道花き品評会

その他

2022 年 7 月 14 日

- (3) 第 13 回北海道農業高校生ガーデニングコンテスト

その他

2022 年 6 月 25 日

- (4) 北海道養液栽培研究会 冬季講座 2022

司会

2022 年 2 月 18 日

- (5) 北海道施設園芸高度化フォーラム

司会

2022 年 2 月 17 日

教 授 義平 大樹

・論文

- (1) Effect of Nitrogen topdressing on planting density response of grain yield in maize with different planting pattern cultivation

Song Liang, Taiki Yoshihira

Grassland Science 68 286-297 2022 年 2 月 6 日 査読有り 責任著者

- (2) Simplified estimation of branching plasticity of soybean cultivars in relation to planting density by branch development in the row with the gradient of distance between plants and after pinching Plant Production Science 25 受理 印刷中 査読有り 筆頭著者

・著書

・社会貢献

- (1) 北海道における地方農業振興に関わる産官学の取り組み ～技術普及における農業支援組織の連携について～ JICA プログラム 青年研修「フィリピン農村振興」1 回目 講師 2022 年 2 月 2 日
- (2) 農福連携を現場で実践するにあたっての実務的課題
司会, 企画 江別農福連携協議会 2022 年 3 月 7 日
- (3) 農福連携に関する最新の動向 司会, 企画
れんけい (農福連携推進グループ) 2022 年 3 月 7 日
- (4) 令和 4 年度 北海道開発局事前評価技術検討会 審査委員会
外部審査委員 2022 年 6 月 28 日
- (5) 北海道のスイートコーンの魅力 北海道ブランド Air-G ラジオ FM 放送
出演 2022 年 9 月 4 日、9 月 11 日
- (6) 北海道における地方農業振興に関わる産官学の取り組み ～技術開発における農業支援組織の連携について～ JICA プログラム 青年研修「フィリピン農村振興」2 回目 講師 2022 年 8 月 2 日
- (7) 大豆、小豆、菜豆試験栽培に関する成果報告会および意見交換会(帯広農業高校) コメンテーター 講師 2022 年 11 月 12 日
- (8) 道内の農福連携取組状況と 道南地域で取組みやすい事例紹介および 今後の農福の課題について 檜山振興局主催 農業と障がい者福祉の連携を推進するセミナー 講師 2022 年 11 月 21 日

教 授 我妻 尚広

・論文

- (1) 余市岳におけるエゾコザクラの葉緑体ゲノムの遺伝変異とその形態特性—
Genetic variation of chloroplast genome and morphological characteristics of *Primula cuneifolia* Ledeb. var. *cuneifolia* at Yoichidake in Hokkaido, Japan—第 53 回大会特集
原 悠里, 我妻 尚広, 岡本 吉弘, 森 志郎
日本緑化工学会誌 / 日本緑化工学会 [編] 48(1) 51-55 2022 年 8 月 査読有り責任著者

・著書

・社会貢献

- (1) 2022 年度北海道札幌啓成高等学校課題研究発表会
講師
2022 年 12 月 16 日
- (2) 2022 年度北海道札幌啓成高等学校課題研究
助言・指導
2022 年 10 月 20 日

- (3) 2022 年度北海道札幌啓成高等学校課題研究発表会中間発表会
講師
北海道札幌啓成高等学校 2022 年 8 月 26 日
- (4) 2022 年度日本生物教育会第 76 回全国大会北海道大会
講師
日本生物教育会、北海道生物教育会、日本理化学協会、北海道高等学校理科学研究会 2022 年 8 月 2 日 - 2022 年 8 月 4 日
- (5) 2022HOKKAIDO サイエンスフェスティバル兼インターナショナルサイエンスフェア
講師
北海道札幌啓成高等学校 2022 年 2 月 14 日

准教授 小八重 善裕

- ・ 論文
- ・ 著書
- (1) 菌根と地力の関係についての一考察
小八重善裕, 千徳毅
作物生産と土づくり 54 2-5 2022 年 8 月 筆頭著者責任著者
- ・ 社会貢献

准教授 薦田 優香

- ・ 論文
- (1) Short 5' Untranslated Region Enables Optimal Translation of Plant Virus Tricistronic RNA via Leaky Scanning
Yuji Fujimoto, Takuya Keima, Masayoshi Hashimoto, Yuka Hagiwara-Komoda, Naoi Hosoe, Shuko Nishida, Takamichi Nijo, Kenro Oshima, Jeanmarie Verchot, Shigetou Namba, Yasuyuki
Journal of Virology 96(7) e0214421 2022 年 3 月 9 日 査読有り
- (2) An efficient mechanical inoculation technique for soybean dwarf virus reveals that the viral readthrough domain is inessential for the systemic infection of host plants
Yuka Hagiwara-Komoda
Journal of General Plant Pathology 88(3) 197-202 2022 年 3 月 1 日 査読有り筆頭著者責任著者
- (3) 植物ウイルスに対する新たな劣性抵抗性遺伝子の発見とその作用メカニズム
橋本将典, 煉谷裕太郎, 桂馬拓也, 薦田(萩原)優香, 難波成任, 山次康幸
植物ウイルス病研究会レポート (14) 2022 年

・ 著書

(1) 機を知るは農の始めにして終りなり：健土健民入門実習

小宮道士, 岡本吉弘, 亀岡笑, 小八重善裕, 澤本卓司, 三枝俊哉, 園田高広, 森志郎, 薦田優香, 中平賢吾, 山口剛典, 川岸孝博, 川端幸枝 (分担執筆, 範囲:作物の病気のはなし.)

酪農学園大学社会連携センター 2022 年 4 月 (ISBN: 9784902786316)

・ 社会貢献

動物資源生産学

教 授 天野 朋子

・ 論文

(1) Conventional Gel Electrophoresis-Resolvable Insertion/Deletion Markers for Individual Identification and Analysis of Population Genetics in Red-Crowned Cranes in Eastern Hokkaido, Japan

Erika Kawasaki, Dong Wenjing, Akira Sawada, Momoko Nakajima, Kunikazu Momose, Tomoo Yoshino, Tomoko Amano, Daiji Endoh, Nobuyoshi Nakajima, Hiroki Teraoka

Animals 12(17) 2293-2293 2022 年 9 月 4 日 査読有り

(2) Metabarcoding of feces and intestinal contents to determine carnivorous diets in red-Haruka KATAOKA, Nanami KOITA, Natsuko Ito KONDO, Hiroshi C. ITO, Momoko NAKAJIMA, Kunikazu MOMOSE, Hiroko IIMA, Tomoo YOSHINO, Tomoko AMANO, Takio KITAZAWA, Daiji ENDOH, Nobuyoshi NAKAJIMA, Hiroki TERAOKA

Journal of Veterinary Medical Science 2022 年 1 月 査読有り

・ 著書

・ 社会貢献

教 授 泉 賢一

・ 論文

(1) Sodium butyrate administration modulates the ruminal villus height, inflammation-related gene expression, and plasma hormones concentration in dry cows fed a high-fiber diet

Rika Fukumori, Kazuya Doi, Taisei Mochizuki, Shin Oikawa, Satoshi Gondaira, Tomohito Iwasaki, Kenichi Izumi

Animal Science Journal 93(1) 2022 年 10 月 査読有り最終著者責任著者

- (2) Effects of digestive drug containing betaine hydrochloride on dry matter intake, rumen profiles, and blood concentrations of gut hormones in non-lactating cows

Rika Fukumori, Yumiko Takayama, Kenichi Izumi, Shin Oikawa

The Japanese Journal of Animal Hygiene 47(4) 197-204 2022 年 3 月 1 日 査読有り

・ 著書

- (1) Dairy PROFESSIONAL : Vol.25 「飼料価格高騰の今、飼養管理を見直す」
泉 賢一 (担当:分担執筆, 範囲:②油脂の正しい使い方)
デーリイジャパン社 2023 年 1 月 15 日
- (2) 乳量・乳質向上のチェックポイント【2021 年版ホルスタイン・データファイル
付き】
(担当:分担執筆, 範囲:第III章 飼料設計・給餌の見直し 1 飼料設計と実際の乳量
の関係、3 目的別飼料設計・給餌の見直し②乳脂率など成分の改善)
デーリイマン社 2022 年 5 月 1 日
- (3) ルーメン先生の今日もウシから学んでいます 第 5 回 飼料効率を考える 上
泉 賢一
全酪新報 2023(2 月) 2023 年 2 月 10 日 招待有り筆頭著者責任著者
- (4) ルーメン先生の今日もウシから学んでいます 第 4 回 ホル雄肥育に海藻給与
泉 賢一
全酪新報 2023(1 月) 2023 年 1 月 10 日 招待有り筆頭著者責任著者
- (5) 連載／押さえておきたい栄養管理の基本 現場で想定される飼料設計の疑問 そ
の 2
芦沢 博道, 泉 賢一
デーリイマン 72(12) 84-87 2022 年 12 月 15 日 招待有り最終著者責任著者
- (6) ルーメン先生の今日もウシから学んでいます 第 3 回 子牛のルーメンの発達②
泉 賢一
全酪新報 2022(12 月) 2022 年 12 月 10 日 招待有り筆頭著者責任著者
- (7) ワンポイント質問 アンモニアが高い草の栄養設計
泉 賢一
家畜診療 69(12) 725-727 2022 年 12 月 1 日 査読有り招待有り筆頭著者責任著
者
- (8) 連載／押さえておきたい栄養管理の基本 現場で想定される飼料設計の疑問 そ
の 1
芦沢 博道, 泉 賢一
デーリイマン 72(11) 84-87 2022 年 11 月 15 日 招待有り最終著者責任著者
- (9) ルーメン先生の今日もウシから学んでいます 第 2 回 子牛のルーメンの発達
泉 賢一

全酪新報 2022(11月) 2022年11月10日 招待有り筆頭著者責任著者

- (10) 連載／押さえておきたい栄養管理の基本 消化・吸収の仕組みと飼料設計の手順

芦沢 博道, 泉 賢一

デーリィマン 72(10) 84-87 2022年10月15日 招待有り最終著者責任著者

- (11) ルーメン先生の今日もウシから学んでいます 第1回 4つの胃袋と発酵熱
泉 賢一

全酪新報 2022(10月) 2022年10月10日 招待有り筆頭著者責任著者

- (12) 代用乳中の乳糖含量の違いが乳用子牛の血液、糞便性状および消化率に及ぼす影響

廣瀬 美紀, 中山 貴公, 福森 理加, 及川 伸, 千里 今日子, 嶋田 健介, 則村 いづみ, 泉 賢一

日本畜産学会大会講演要旨集 130回 94-94 2022年9月

- (13) 乳用子牛における代用乳の乳糖含量が腸管透過性および肝臓の炎症性サイトカイン mRNA 発現量に及ぼす影響

中山 貴公, 廣瀬 美紀, 福森 理加, 千里 今日子, 嶋田 健介, 峯尾 仁, 則村 いづみ, 泉 賢一, 権平 智, 樋口 豪紀, 及川 伸

日本畜産学会大会講演要旨集 130回 127-127 2022年9月

・社会貢献

- (1) ルーメン、飼料、飼料設計についての座談会

講師, 情報提師

NOSAI 宮崎 学習会 2023年2月14日

- (2) ルミノロジーに関する研修

講師

全酪連札幌支所 研修会 2023年2月1日

- (3) 乳牛と酪農の底ぢからをのぞいてみよう

講師

星槎国際高校 総合授業 2022年11月29日 - 2022年12月6日

- (4) 岡山県内酪農場の情報交換会

講師, 助言・指導

全酪連、おかやま酪農協 2022年11月25日

- (5) ヒマワリ種子給与試験について

助言・指導

名寄産業高校、北海道酪農検定検査協会 探究学習 2022年11月18日

- (6) 乳牛栄養学

講師, 企画, 運営参加・支援

ホクレン 酪農専門技術強化研修 2022 年 10 月 18 日

(7) 『商品にならない昆布を肉牛に与えて街おこし』

講師

アニマドーレ、酪農大入試課 アニマドーレ in 酪農学園大学 2022 年 9 月 25 日

(8) 「National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine」(通称「NASEM」)について

講師

全酪連 全酪連職員研修 2022 年 8 月 18 日 - 2022 年 8 月 25 日日

(9) 酪農用語の理解、乳牛のライフサイクル、牛に関する基礎数字について、搾乳の理論と搾乳実習、飼養環境について、トラブルシューティングについてか
講師, 企画, 運営参加・支援

ホクレン 酪農専門技術強化研修 2022 年 8 月 8 日 - 2022 年 8 月 10 日

(10) 乳牛のすごさ、酪農のすごさ

出演, 実演

酪農学園大学 チカホ de マルシェ 2022 年 2 月 9 日 - 2022 年 2 月 13 日

(11) 「ルーメン機能を意識した飼料給与」、「インテリジェント牛舎見学」

講師

酪農ヘルパー全国協会 令和 4 年度酪農ヘルパー 中級者養成研修 2023 年 1 月 17 日

(12) 「ルーメン機能を意識した飼料給与」、「インテリジェント牛舎見学」

講師

ウシのエサについて、酪農を学び体験する講座、搾乳実習

講師, 実演

ホクレン農業協同組合連合会 / 北海道牛乳普及協会、社会連携センター 元気
ミルク大学 2022 年 8 月 10 日 - 2022 年 8 月 11 日

教 授 今井 敬

・論文

・著書

(1) 牛 ET 実践手引書

(担当:共著, 範囲:第 5 章 最近の経膈採卵技術について p.151-188)

東京図書出版 2022 年 4 月 (ISBN: 9784866414850)

(2) OPU-IVP による胚生産技術の理論と現状 (2022.12)

今井 敬

OPU-IVF によるウシ胚生産における技術者研修 畜産技術協会 1-37 2022 年 12 月

- (3) IETS における雌牛からの OPU-IVP による胚生産に関する議論：プリカンファレンス・シンポジウムおよび実務者フォーラムより
今井 敬
北海道牛受精卵移植研究会 会報 (40) 9-17 2022 年 3 月 筆頭著者
- (4) OPU-IVP によるウシ胚の生産技術(2022)
今井 敬
OPU-IVF におけるウシ胚生産における技術者研修 1-36 2022 年 3 月 筆頭著者
- (5) ウシ経腔採卵 (OPU) 一体外受精技術
今井 敬
ウシの繁殖性向上に向けた獣医医療技術講座 1-35 2022 年 1 月 招待有り
- (6) 経腔採卵 (OPU) の実際
今井 敬
牛の繁殖性向上に向けた獣医医療技術講座 37-42 2022 年 1 月 招待有り筆頭著者
- ・ 社会貢献
- (1) OPU-IVF によるウシ胚生産における技術者研修
講師, 企画, 実演
畜産技術協会 2022 年 12 月 6 日
- (2) OPU 実務者技術研修会
講師, 実演
畜産技術協会 2022 年 10 月 26 日 - 2022 年 10 月 27 日
- (3) 第 2 回編集委員会への参加
編集, 助言・指導, 情報提供, 企画
畜産技術協会 2022 年 10 月 4 日
- (4) 第 1 回編集委員会への参加
編集, 助言・指導, 情報提供
畜産技術協会 2022 年 7 月 8 日
- (5) OPU-IVF によるウシ胚生産における技術者研修
講師, 実演
畜産技術協会・酪農学園大学 2022 年 3 月 4 日
- (6) ウシの繁殖性向上に向けた獣医医療技術講座
講師, 実演
畜産技術協会・宮崎大学 2022 年 1 月 6 日 - 2022 年 1 月 7 日

教 授 菊 佳男

・ 論文

- (1) 1 牧場における牛消化管内寄生虫の 駆虫効果と駆虫プログラムの構築に ついて
嶋田 楓, 葛巻 勇哉, 阿部 悠人, 竹田 壮太, 宮寄 大輔, 西村あかり, 岸田 美月, 北野 菜奈, 福森 理加, 菊 佳男, 高橋 俊彦
牛臨床寄生虫研究会誌 13(1) 3-12 2023 年 1 月 査読有り
- (2) 超音波画像解析を用いた乳房炎罹患乳房の炎症評価の試み : 農林水産省経営局長賞—Attempt to evaluate inflammation of udder with mastitis using ultrasonographic imaging analysis—令和 3 年度家畜診療等技術全国研究集会・入賞論文
石井 美玖, 大谷 夏輝, 田中 秀和, 菊 佳男, 磯部 直樹
家畜診療 = Journal of livestock medicine 69(11) 643-652 2022 年 11 月 査読有り
- (3) Coinfection with *Candida tropicalis* and Cytomegalovirus in a Piglet
Yuuto KAWASHIMA, Hiroyasu TAKAHASHI, Kiyoko NOBUMOTOI, Yasuko, HANAFUSA, Tomoyuki SHIBAHARA, Osamu MIKAMI, Yoshio KIKU, Koichi KADOTA
Japan Agricultural Research Quarterly 56(4) 399-404 2022 年 10 月 査読有り 責任著者
- (4) 抗菌薬使用量低減に向けた乳房炎防除戦略
菊佳男
北海道畜産草地学会報 10(2) 6-9 2022 年 9 月 招待有り筆頭著者責任著者・著書
- (1) 最近ちょっと耳にする選択的乾乳期治療の話
菊 佳男
酪農 PLUS+ 2023 年 1 月
- (2) 乳房炎研究の現状と課題
菊佳男
畜産技術 = Livestock technology (809) 2-7 2022 年 10 月
- (3) 5-アミノレブリン酸投与によるホルスタイン種哺育牛の血液性状に及ぼす影響
菊 佳男
酪農学園大学紀要. 自然科学編 47(1) 1-6 2022 年 10 月
- (4) 牛の乳房炎原因菌同定におけるマトリックス支援レーザー脱離イオン化 (MALDI)質量分析の有用性
安富 一郎, 塩倉 悠靖, 溝口 匠飛, 池田 徳明, 菊 佳男
北海道獣医師会雑誌 66(8) 258-258 2022 年 8 月
- (5) 生産ロスを見直す~乳質・乳房炎編~PART 6 選択的乾乳期治療の可能性
菊 佳男
Dairy Japan 67(7) 90-97 2022 年 6 月 招待有り 責任著者

- (6) ホルスタイン種乳牛における日本初の選択的乾乳期治療法の確立
北野 菜奈, 菊 佳男, 高橋 俊彦
家畜感染症学会誌 11(1) 35-35 2022 年 4 月
- (7) ホルスタイン種において乳汁中の IgA および IgM 濃度の遺伝率は高い
桂哲平, 遠藤佑真, 庄 涛, 浦川めぐみ, 吉村 梢, 高梨 暁, 林 智人, 菊 佳男,
長澤裕哉, 浅野貴史, 佐沢公子, 横井允雄, 吉田 岳, 中村武彦, 上本吉伸, 野地
智法, 麻生 久
日本乳房炎研究会報 26 73-74 2022 年 3 月
- (8) 乳汁細菌検出キットによる経済損失の削減に資する有用性評価に関する研究
関塚次郎, 大林 哲, 高橋和瑛, 来原加奈, 長澤裕哉, 杉山 碧, 林 智人, 菊 佳
男, 前花浩志, 小田光太郎
日本乳房炎研究会報 26 52-55 2022 年 3 月
- (9) 超音波画像解析を用いた乳房炎の治療効果および予後判定の検討
石井美玖, 大谷夏輝, 田中秀和, 菊 佳男, 磯部直樹
日本乳房炎研究会報 26 43-51 2022 年 3 月
- (10) 乳用牛における日本型選択的乾乳期療法 of 構築
北野菜奈, 菊 佳男, 高橋俊彦
日本乳房炎研究会報 26 41-42 2022 年 3 月
- (11) 国際酪農連盟 (IDF) において議論されている乳房炎の定義に関するガイド
ラインについて
菊 佳男
日本乳房炎研究会報 26 26-29 2022 年 3 月 招待有り筆頭著者責任著者
- (12) 超音波画像解析を用いた乳房炎罹患乳房の炎症評価の試み
石井美玖, 大谷夏輝, 田中秀和, 菊佳男, 磯部直樹
家畜診療 69(703) 48-49 2022 年 1 月

・社会貢献

教授 小宮 道士

- ・論文
- ・著書

- (1) 乳牛の姿勢および行動の判別に関するロバストな手法開発
坂本海人, 松田朝陽, 田中孝之, 石川志保, 森田茂, 小宮道士, 原亮一
計測自動制御学会北海道支部学術講演会論文集 54th 2022 年

・社会貢献

教授 佐藤 喜和

・論文

- (1) Molecular phylogeny and new haplotypes of extinct Asian black bear populations in Kyushu island, Japan
Tetsuji Itoh, Yoshikazu Sato, Naotaka Ishiguro, Minoru Shimizu, Nozomi Kurihara, Masayo Minami, Koji Yamazaki
Japanese Journal of Zoo and Wildlife Medicine 28(1) 2023 年 3 月 査読有り

・著書

- (1) 文藝春秋オピニオン 2023 年の論点 100: 文春ムック
佐藤喜和 (担当:分担執筆, 範囲:市街地出没で事故増加. 「アーバン・ベア」が増えた理由)
文藝春秋 2022 年 11 月 7 日 (ISBN: 4160070558)
- (2) アーバン・ベアとのつきあい方. クマを誘っているのは人なのかも. (石川未紀, 企画・構成) 【特集】足下にある生物多様性.
佐藤喜和
望星 53(10) 37-45 2022 年 10 月 招待有り筆頭著者
- (3) 身近になったヒグマと向きあうためにー北海道ヒグマ管理計画 (第 2 期) の施行によせてー
佐藤, 喜和
北海道自治研究 641 24-28 2022 年 6 月 招待有り筆頭著者
- (4) となりのヒグマ. アーバン・ベア問題とはなにか
佐藤, 喜和
UP 51(1) 13-18 2022 年 1 月 招待有り筆頭著者

・社会貢献

- (1) 基調報告】ヒグマとその管理に関する近況
コメンテーター, 司会, 講師, 企画, 運営参加・支援
浦幌町立博物館 卒業論文大発表会 2023in 浦幌「浦幌のヒグマこんなに調べました！」 2023 年 2 月 3 日
- (2) インタビュー【アンカー】白崎義彦, 【ゲスト】酪農学園大学環境共生学類教授 佐藤喜和
出演
NHK NHK ラジオ深夜便 2022 年 12 月 23 日
- (3) 200 万都市札幌におけるアーバンベア問題～その背景と必要な対策とは～
講師
円山動物園 円山動物園トークイベント「フィールドと動物園での普及活動を通して考える人とクマの「いい距離間」」 2022 年 12 月 18 日

- (4) 保全と地域の暮らしの両立を目指して一木頭から始まるツキノワグマ保全のカタチー
インタビュアー, 企画, 運営参加・支援
四国自然史科学研究センター, 日本自然保護協会, 日本クマネットワーク, 木頭図書館 四国ツキノワグマ保護プロジェクト公開シンポジウム 2022 年 12 月 10 日
- (5) 変化する北海道のヒグマとヒトの関係
講師
拓殖大学北海道短期大学 拓殖大学北海道短期大学第 56 回農業セミナー「農業・生活と野生動物」 2022 年 12 月 7 日
- (6) 札幌市における多角的な取り組み事例
パネリスト, 講師
日本クマネットワーク JBN シンポジウム「街に出るクマ～アーバンベアとどう付き合うか？わたしたちにできること～」 2022 年 12 月 4 日
- (7) 「アーバンベア」研究から見た野生動物と社会の関係
講師
日本貿易振興機構アジア経済研究所 第 7 回ワンヘルス研究会 2022 年 12 月 2 日
- (8) 管理の現状と課題
講師
ヒグマの会・旭川市・旭山動物園・旭川市科学館 ヒグマフォーラム in 旭川
「街に出るヒグマ アーバンベアと向きあうグランドデザイン」 2022 年 11 月 19 日
- (9) ヒグマの生態と人間社会の変化から考える近年のヒグマ問題および野外調査におけるヒグマ対策
講師
日本環境アセスメント協会 令和 4 年度第 1 回技術セミナー 2022 年 11 月 17 日
- (10) 市街地におけるヒグマ・エゾシカ問題を考える～緊急事対応と平時侵入防止における役割分担と連携～
パネリスト, 司会, 企画, その他
第 27 回「野生生物と社会」学会北海道・江別大会 2022 年 10 月 29 日
- (11) ヒグマの基礎知識・被害対策
講師
北海道 令和 4 年度ヒグマ保護管理人材育成研修会（帯広会場） 2022 年 10 月 26 日 - 2022 年 10 月 27 日
- (12) ヒグマの生態に関する講演会
講師

- JR 北海道釧路支社 ヒグマの生態に関する講演会 2022 年 9 月 2 日
- (13) 空知地域ヒグマ学習会
講師
北海道空知振興局 空知地域ヒグマ学習会 2022 年 8 月 30 日
- (14) 都市部のクマとの共生を探る
講師
UHB 大学 UHB 大学講演会 2022 年 8 月 23 日
- (15) 基調講演&学びレッスン
出演, パネリスト, 講師
北海道 ヒグマシンポジウム 2022 年 8 月 23 日
- (16) 「ヒグマ生態勉強会 身近なヒグマとの付き合い方」・地域住民との草刈り
講師
日本生物教育会全国大会 日本生物教育会全国大会実験講座 2022 年 8 月 4 日
- (17) 札幌のヒグマ
出演, 取材協力, 実演
日本テレビ いた! ヤバイ生き物 キケン生物と大バトル 2022 年 7 月 12 日
- (18) 第 23 回「熊 人類との共存の歴史」コラムゲスト
出演
ヒグマの会 ヒグマフォーラム 2021in 札幌「これからの 10 年 ヒグマと向きあ
Audible Journey to the origin with Anne 2022 年 7 月 1 日
- (19) 都市に出没するヒグマ
講師
江別ユネスコ協会 江別ユネスコ協会文化講演会 2022 年 6 月 23 日
- (20) クマの錯誤捕獲, 現場で何が起きているの? ~現状と課題を知るための
第一歩~
出演, 司会, 企画, 運営参加・支援
日本クマネットワーク JBN 緊急シンポジウム 2022 年 5 月 7 日
- (21) ヒグマが街に迫る理由 クマ担記者と研究者の現場報告
講師
北海道新聞社デジタル推進本部 どうしん記者トーク 2022 年 4 月 21 日
- (22) クマと人 かしこいおつきあい
講師
たきかわ環境フォーラム エコカフェ 2022 2022 年 4 月 2 日 - 2022 年 4 月 4 日
- (23) となりのヒグマとともに生きるために 新岡薫・宮本尚 (文・イラスト)
取材協力
モリイク 23 10-11 2022 年 4 月

(24) クマの市街地出没の現状と課題について

講師

環境省東北地方環境事務所 令和3年度東北地方におけるツキノワグマ出没対応勉強会 2022年3月3日

(25) 都市部にヒグマが～その背景と今後に向けて～

出演, 司会, 講師

札幌市 さっぽろヒグマフォーラム 2022「これからのヒグマ対策～ゾーニング管理による共生を目指して～」 2022年2月26日

(26) これからのヒグマとの共存のあり方

講師

北海道環境生活部 令和3年度(2021年度)ヒグマコーディネータ研修会(兼ヒグマ支援班研修) 2022年2月1日

(27) これからの普及啓発のカタチ～クマのことを広めるコツ～

講師, 企画

日本クマネットワーク これからの普及啓発のカタチ～クマのことを広めるコツ～ 2022年1月29日

教授 堂地 修

- ・論文
- ・著書

(1) 乾式凍結器で凍結保存したウシの体外受精胚および体内受精胚の生存率および受胎率

片岡妃奈, 西寒水将, 今井 敬, 堂地 修

第6回日本胚移植技術研究会・第39回北海道牛受精卵移植研究会合同研究発表北海道大会 講演要旨集 42-42 2022年11月

(2) 初期卵割に異常を認めた OPU-IVP 胚の受胎性

片岡妃奈, 佐藤友紀, 齋藤涼太, 佐野将之, 本吉拓也, 椎名拓海, 西寒水 将, 堂地 修, 今井 敬

第6回日本胚移植技術研究会・第39回北海道牛受精卵移植研究会合同研究発表北海道大会 講演要旨集 50-50 2022年11月

(3) 最近の黒毛和種の分娩および産子に関する諸データ

片岡妃奈, 西寒水 将, 今井 敬, 堂地 修

第6回日本胚移植技術研究会・第39回北海道牛受精卵移植研究会合同研究発表北海道大会 講演要旨集 15-16 2022年11月 招待有り

- ・社会貢献

(1) 全国和牛登録協会中央審査員

助言・指導

公益財団法人全国和牛登録協会 2022 年 4 月 22 日 - 2025 年 3 月 31 日

- (2) 令和 4 年度畜産・酪農生産力強化対策事業における繁殖性等向上対策事業検討委員

助言・指導

一般社団法人全国肉用牛振興基金協会 2022 年 7 月 20 日 - 2023 年 3 月 31 日

- (3) 第 12 回全国和牛能力共進会北海道対策本部 顧問

助言・指導

一般社団法人北海道酪農畜産協会 2022 年 3 月 31 日 - 2023 年 3 月 31 日

- (4) 公益財団法人全国和牛能力共進会審査顧問

助言・指導

公益財団法人全国和牛登録協会 2022 年 10 月 1 日 - 2022 年 10 月 10 日

- (5) 令和 3 年度畜産・酪農生産力強化対策事業（繁殖性等向上対策）に係る肉用牛繁殖性向上検討会 肉用牛繁殖技術シンポジウム

パネリスト, 司会

一般社団法人全国肉用牛振興基金協会 2022 年 2 月 21 日

教 授 中谷 暢丈

・論文

- (1) The impact of China's Belt and Road Initiative on change and losing of Central Asian oases agricultural land
Kazuki SENO, Christopher MCCARTHY, Maira KUSSAINOVA, Sabir NURTAZIN, Mikoto KANEKO, Nobutake NAKATANI, Satoru HOBARA James BANFILL, Buho HOSHINO
Journal of Arid Land Studies 32(S) 47-54 2022 年 9 月 査読有り
- (2) Remote Sensing Approach for the Appearance and Disappearance of Oasis Farmland in Kazakhstan
Buho Hoshino, Kazuki Seno, Maira Kussainova, Nobutake Nakatani, Satoru Hobara
IGARSS 2022 - 2022 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium
2022 年 7 月 17 日 査読有り
- (3) Characteristics of PM2.5 Pollution in Osorno, Chile: Ion Chromatography and Meteorological Data Analyses
Ayane Nakamura, Nobutake Nakatani, Fumito Maruyama, So Fujiyoshi, Rodrigo Márquez-Reyes, Ricardo Fernández, Jun Noda
Atmosphere 13(2) 2022 年 2 月 査読有り

・著書

・社会貢献

(1) 資源としての水とその利用

講師

旭川西高等学校 2022 年 7 月 22 日

教 授 中辻 浩喜

・論文

(1) 高水分未利用飼料原料の凍結解凍・脱水処理が原料からの水分除去率と栄養成分および人工消化試験によるブタの乾物および粗タンパク質消化率に及ぼす影響

山田未知, 西藤寛人, 山中将彦, 武田陽介, 池原麻友美, 山田幸二, 中辻浩喜

日本養豚学会誌 59(3) 157-166 2022 年 9 月 査読有り

・著書

(1) 周産期疾病から牛を守る (デーリイマン編集部 編)

中辻浩喜 (担当:分担執筆, 範囲:2. 周産期の飼料設計・給餌の見直し (第IV章 栄養管理からのアプローチ))

デーリイマン秋季臨時増刊号, デーリイマン社, 札幌 2022 年 10 月 (ISBN: 9784864530873)

(2) 乳量・乳質向上のチェックポイント (監修 青木康浩)

中辻浩喜 (担当:分担執筆, 範囲:2. 目的別飼料設計・給餌の見直し ①段階的乳量コントロール (第III章 飼料設計給餌の見直し))

デーリイマン夏季臨時増刊号, デーリイマン社, 札幌 2022 年 5 月 (ISBN: 9784864530842)

(3) 適切な乳量調整法を探る ①飼料メニュー見直しの手順と変更時の留意点

中辻浩喜

Dairyman 72(3) 44-47 2022 年 3 月 招待有り筆頭著者責任著者

・社会貢献

(1) ホクレン畜産生産部 酪農専門技術強化研修

講師, 助言・指導

ホクレン農業協同組合連合会 酪農学園大学, 江別市 2022 年 8 月 10 日

(2) 令和 4 年度第 1 回「酪農家飼養環境及びバルク乳成分調査事業」推進委員会

助言・指導

JRA 畜産振興事業 (事業責任者: 北海道大学大学院農学研究院 三谷朋弘准教授) 北海道大学農学部会議室, 札幌市 2022 年 8 月 4 日

(3) 令和 4 年度北海道農業試験会議 (新規課題検討会議) 畜産部会

助言・指導

- (地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部 道総研畜産試験場, 新得町 2022 年 6 月 30 日 - 2022 年 7 月 1 日
- (4) 令和 3 年度北海道農業試験会議 (設計会議) 畜産部会
助言・指導
(地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部 WEB 会議 2022 年 3 月 9 日 - 2022 年 3 月 11 日
- (5) 令和 3 年度北海道農業試験会議 (成績会議) 畜産部会
助言・指導
(地独) 北海道立総合研究機構農業研究本部 WEB 会議 2022 年 1 月 18 日

教 授 森田 茂

・論文

- (1) Measurement of frequency of sucking in rubber teat-fed dairy calves using an accelerometer attached on the neck-collar
Morita Shigeru; Okazaki Syunpei; Kato Hiroyuki; Ueda Koichiro
Animal behaviour and Management 58(3) 109-115 2022 年 8 月 25 日 査読有り 筆頭著者 責任著者

・著書

- (1) 文献紹介 東京ミルクものがたり
森田茂
畜産技術 (811) 44 2022 年 12 月
- (2) 文献紹介 動物福祉学
森田茂, 鷺見菜穂子
畜産技術 (809) 40 2022 年 10 月
- (3) IDF 常設委員会農場管理常設委員会報告書
森田茂
2021 年度国際会議出席報告 215-224 2022 年 2 月 招待有り
- (4) 酪農を学ぶ楽しさは人も牛も HAPPY にする
森田茂
デーリィ・ジャパン (1 月号) 9-9 2022 年 1 月

・社会貢献

- (1) 自動搾乳システムでの乳牛行動に適した飼養管理および施設計画
講師
令和 4 年中央畜産技術研修会 2022 年 11 月 16 日 招待有り
- (2) 自動搾乳システムでの農場内データ活用と乳牛行動理解による飼養管理の改善
講師

北海道酪農技術セミナー2022 2022 年 11 月 8 日 招待有り

- (3) 人と家畜相互の信頼と恐れに基づく洗練された家畜管理 技術の普及

講師

第 16 回日本セーフティープロモーション学会学術大会 2022 年 10 月 29 日 招待有り

准教授 増田 豊

・論文

- (1) Identifying influential sires and distinct clusters of selection candidates based on genomic relationships to reduce inbreeding in the US Holstein
Y. Steyn, Y. Masuda, S. Tsuruta, D.A.L. Lourenco, I. Misztal, T. Lawlor
Journal of Dairy Science 105(12) 9810-9821 2022 年 12 月 査読有り
- (2) An iterative method for de-regressed proof in single-step genomic BLUP and its application to a dairy cattle population
Y Masuda, Z Liu, P Sullivan
Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production 19_017 2022 年 7 月 査読有り筆頭著者
- (3) Is single-step genomic REML with the algorithm for proven and young more computationally efficient when less generations of data are present?
Vinicius Silva Junqueira, Daniela Lourenco, Yutaka Masuda, Fernando Flores Cardoso, Paulo Sávio Lopes, Fabyano Fonseca E Silva, Ignacy Misztal
Journal of animal science 100(5) 2022 年 3 月 15 日 査読有り
- (4) Invited review: Unknown-parent groups and metafounders in single-step genomic BLUP
Yutaka Masuda, Paul M. VanRaden, Shogo Tsuruta, Daniela A.L. Lourenco, Ignacy Misztal
Journal of Dairy Science 105(2) 923-939 2022 年 2 月 査読有り招待有り筆頭著者
責任著者

・著書

- (1) 牛におけるゲノミック選抜法の積極的な活用 第 3 回 ゲノミック育種価の信頼度と最適な種雄牛選択
増田 豊
繁殖技術 42(5) 123-129 2022 年 9 月 筆頭著者
- (2) 牛におけるゲノミック評価における抗病性
増田 豊
臨床獣医 40(8) 30-34 2022 年 7 月 招待有り

- (3) Investigating genetic redundancy as a source of genetic diversity and adaptability in the U.S. Holstein breed
 Steyn, Y, Lawlor, T.J, Tsuruta, S, Masuda, Y, Legarra, A, Lourenco, D.A.L, Misztal, I
 Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production
 67_015 2022 年 7 月 査読有り
- (4) Population structure of U.S. Holsteins allows for a snapshot of allele frequency changes and family specific SNPs
 Lawlor, T.J, Steyn, Y, Tsuruta, S, Masuda, Y, Lourenco, D.A.L, Misztal, I
 Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production
 61_008 2022 年 7 月 査読有り
- (5) How ssGBLUP became suitable for national dairy cattle evaluations
 Misztal, I, Lourenco, D, Tsuruta, S, Aguilar, I, Masuda, Y, Bermann, M, Cesarani, A, Legarra, A
 Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production
 52_009 2022 年 7 月 査読有り
- (6) Recent updates in the BLUPF90 software suite
 Lourenco, D, Tsuruta, S, Aguilar, I, Masuda, Y, Bermann, M, Legarra, A, Misztal, I
 Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production
 36_012 2022 年 7 月 査読有り
- (7) A deregression method for a single-step SNP BLUP model using all genotype data
 Z Liu, Y Masuda
 Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production
 19_012 2022 年 7 月 査読有り
- (8) An alternative method to consider a reference population in Single-Step SNP BLUP model without separating genomic terms
 Osawa, T, Baba, T, Masuda, Y, Kawahara, T, Goto, Y
 Proceedings of the 12th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production
 19_003 2022 年 7 月 査読有り
- (9) 牛におけるゲノミック選抜法の積極的な活用 第 2 回 DNA 情報を用いる選抜法
 増田 豊
 繁殖技術 42(3) 89-94 2022 年 7 月 招待有り筆頭著者
- (1 0) Genomic prediction of milk-production traits in Thai dairy cattle
 Pattarapol Sumreddee, Sayan Buaban, Somsak Prempre, Kiettisak Lengnudem,
 Jatuporn Pongpeng, Korbsook Thongsodsaeng, Monchai Duangjinda, Praopilas
 Phakdeedindan, Yutaka Masuda

2022 Current trends of livestock research in Taiwan and Southeast Asian Countries

Organized by Department of Animal Science, National Chung Hsing University,

Taiwan June 29 – July 1, 2022 (online) 2022 年 6 月

- (1 1) 牛におけるゲノミック選抜法の積極的な活用 第 1 回 従来選抜法の問題とゲノミック選抜法への期待

増田 豊

繁殖技術 42(3) 53-58 2022 年 5 月 招待有り筆頭著者

- (1 2) 牛群サイズまたは繁殖成績が上位の乳用牛群記録に基づく推定育種価の精度の検証

山崎武志, 大澤剛史, 増田豊

日本畜産学会大会講演要旨 130th 2022 年

・社会貢献

教 授 山田 弘司

・論文

・著書

・社会貢献

- (1) アニマルセラピー 動物から元気をもらう心と体のはたらき
講師

札幌市立羊丘中学校 2022 年 11 月 25 日

- (2) アニマルセラピー 動物から元気をもらう心と体のはたらき
講師

札幌市立北白石中学校 2022 年 9 月 16 日

- (3) 初心者でも分かる動物心理学
講師

北海道帯広緑陽高校 2022 年 7 月 22 日

教 授 山田 未知

・論文

- (1) Mitochondrial characteristics of chicken breast muscle affected by wooden breast
Yasuhiro Hasegawa, Marina Hosotani, Miyu Saito, Tatsuki Nagasawa, Yusuke Mori,
Takeshi Kawasaki, Michi Yamada, Naoyuki Maeda, Takafumi Watanabe, Tomohito
Iwasaki

Comparative Biochemistry and Physiology Part A: Molecular & Integrative
Physiology 273 111296-111296 2022 年 11 月 査読有り

- (2) 高水分未利用飼料原料の凍結解凍・脱水処理が原料からの水分除去率と栄養成分および人工消化試験によるブタの乾物および粗タンパク質消化率に及ぼす影響

山田未知, 西藤寛人, 山中将彦, 武田陽介, 池原麻友美, 山田幸二, 中辻浩喜
日本養豚学会誌 59(3) 157-166 2022 年 9 月 査読有り筆頭著者責任著者

- (3) Decreasing the abundance of tetracycline-resistant *Escherichia coli* in pig feces during nursery using flavophospholipol as a pig feed additive

Junichiro Kimura, Hayami Kudo, Akira Fukuda, Michi Yamada, Kohei Makita,
Kentaro Oka, Motomichi Takahashi, Yutaka Tamura, Masaru Usui
Comparative Biochemistry and Physiology Part A: Molecular & Integrative
Veterinary and Animal Science 15 100236-100236 2022 年 3 月 査読有り

- (4) Immune Response in Chickens Vaccinated with Freeze-Thawed or Warmed Water-in-Oil Vaccine

Takeshi Kawasaki, Tomohito Iwasaki, Takafumi Watanabe, Yasuhiro Hasegawa,
Marina Hosotani, Michi Yamada
The Journal of Poultry Science 2022 年 査読有り

- ・著書
- ・社会貢献

教 授 吉田 磨

- ・論文
- ・著書

- (1) 日本の環境研究室 2022

吉田 磨 (担当:共著, 範囲:酪農学園大学 環境地球化学研究室)
公益社団法人 環境科学会 2022 年 10 月

- (2) 運輸部門が地球環境に及ぼす影響の一考察 ~公共交通としての北海道の鉄道における課題~

吉田 敬穂, 吉田 磨
酪農学園大学紀要 人文・社会科学編 47(1) 35-37 2022 年 10 月 最終著者責任著者

- ・社会貢献

- (1) 江別市地球温暖化対策実行計画策定協議会委員活動

司会, 助言・指導, 情報提供, その他
江別市 江別市地球温暖化対策実行計画策定協議会 2023 年 2 月 15 日

- (2) 洞爺湖町まちづくり審議会委員活動

助言・指導, 情報提供

洞爺湖町 洞爺湖町まちづくり審議会 2022 年 8 月 30 日

(3) 洞爺湖町まちづくり審議会委員活動

助言・指導, 情報提供

洞爺湖町 洞爺湖町まちづくり審議会 2022 年 2 月 25 日

(4) 江別市環境審議会委員活動

助言・指導, 情報提供

江別市 江別市環境審議会 2022 年 1 月 21 日

准教授 小川 健太

・論文

(1) Automated Counting of Waterfowl on Water Surface Using UAV Imagery

小川健太, 牛山克巳, 小練史弥

日本リモートセンシング学会誌 42 巻(Supplement 号) S1-S8 2022 年 3 月 筆頭著者

・著書

(1) 飛躍を遂げるドローン

小川健太, 小野貴司, 小林伸行

ニューカントリー 827 16-19 2023 年 2 月

(2) UAV 画像を用いた水面の水鳥の自動カウント

小川健太, 牛山克巳, 小練史弥

THE JOURNAL OF SURVEY (月刊 測量) 2-5 2022 年 3 月 筆頭著者

(3) UAV 空撮画像を用いたマガンの個体群密度推定及び個体数推定

野村隼平, 根本なぎさ, 小川健太

日本写真測量学会北海道支部令和 3 年度 第 40 回学術講演会 2022 年 3 月 責任著者

・社会貢献

(1) 鳥類研究のための空飛ぶドローン講座

運営参加・支援

日本鳥学会 日本鳥学会 2022 年度大会 2022 年 11 月 3 日

准教授 原村 隆司

・論文

(1) Open habitats increase vulnerability of amphibian tadpoles to climate warming across latitude. Global Ecology and Biogeography.

Cheng, C-T, M-F. Chuang, T. Haramura, C-B. Cheng, Y. I. Kim, A. Borzée, C-S. Wu, Y-H. Chen, Y. Jang, N. C. Wu, Y-C. Kam

Global Ecology and Biogeography 32 83-94 2023 年 査読有り

(2) Competition between the tadpoles of Japanese toads versus frogs

Haramura, T, K. Eto, MR. Crossland, K. Nishikawa, R. Shine

Scientific Reports 12(12) 1627 2022 年 査読有り筆頭著者責任著者

- ・ 著書
- ・ 社会貢献

准教授 森好 政晴

- ・ 論文
- (1) 呼吸器病症候群(BRDC)の子牛における加療前後の血中ハプトグロビン濃度測定
中村 正明, 小山 毅, 松井 義貴, 澤向 豊, 杉浦 智親, 森好 政晴
産業動物臨床医学雑誌 12(4) 188-192 2022 年 1 月 査読有り
- ・ 著書
- ・ 社会貢献
- (1) 循環農学類 獣医保健看護学類・家畜人工授精師養成講習会および家畜受精卵移植講習会
講師
酪農学園大学 2022 年 8 月 - 2022 年 9 月
- (2) 家畜人工授精講習会
講師
学校法人八紘学園北海道農業専門学校 2022 年 7 月 - 2022 年 8 月
- (3) 畜産コース 1・2 年次「家畜繁殖学 I」の講義を担当
講師
学校法人八紘学園北海道農業専門学校 2021 年 11 月 - 2022 年 2 月

食資源開発利用学

教 授 小澤 修二

- ・ 論文
- ・ 著書
- ・ 社会貢献

教 授 阿部 茂

- ・ 論文
- ・ 著書
- ・ 社会貢献

応用食品科学

微生物利用学

農業経営政策学

教 授 井上 誠司

・論文

- (1) 5-アミノレブリン酸投与によるホルスタイン種哺育牛の血液性状に及ぼす影響
高橋俊彦, 夏井美聡, 岸田美月, 北野菜奈, 井上誠司, 菊佳男
酪農学園大学紀要 47(1) 1-6 2022 年 10 月

・著書

- (1) 法人継承に向けた税理士の対応―道南・G 税理士事務所のケーススタディー―
正木卓・井上誠司
農地所有適格法人の事業継承に関する調査研究報告書 32-37 2022 年 3 月 最終
著者

・社会貢献

- (1) 江別市経済審議会 会長
コメンテーター, 司会, 助言・指導, 情報提供
江別市 2021 年 7 月 1 日 - 2023 年 6 月 30 日
- (2) 江別市行政審議会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供
江別市 2022 年 8 月 29 日 - 2023 年 3 月 31 日
- (3) 令和 4 年度元気なふるさとづくり研究会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
北海道 2022 年 7 月 27 日 - 2023 年 3 月 31 日
- (4) 国営事業評価技術検討会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
北海道開発局 2022 年 4 月 5 日 - 2023 年 3 月 31 日
- (5) 北海道において実施する農業農村整備事業等補助事業の評価に関する技術検討
会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
農林水産省 2021 年 11 月 9 日 - 2023 年 3 月 31 日
- (6) 令和 3 年度元気なふるさとづくり研究会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
北海道 2021 年 7 月 20 日 - 2022 年 3 月 31 日

- (7) 「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール札幌開発建設部ブロック
審査委員会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
札幌開発建設部 2021年7月14日 - 2022年3月31日
- (8) 国営事業評価技術検討会 委員
コメンテーター, 助言・指導, 情報提供, 調査担当
北海道開発局 2021年4月9日 - 2022年3月31日

教授 尾碕 亨

- ・論文
- ・著書
- ・社会貢献

教授 吉野 宣彦

- ・論文
 - (1) 草地型酪農における草地更新後の収益性格差と意思決定
吉野宣彦, 小糸健太郎
酪農学園大学紀要 47(1) 1-25 2022年10月 筆頭著者最終著者責任著者
- ・著書
 - (1) 資材価格高騰下における生乳価格引き上げの意義と課題
吉野宣彦
酪農ジャーナル電子版【酪農 PLUS+】 2022年8月 招待有り筆頭著者
- ・社会貢献
 - (1) 北海道本の世界子ども陶芸展審査員
その他
NPO 法人 風の村学舎 2022年10月1日 - 2022年10月31日

教授 小糸 健太郎

- ・論文
 - (1) 草地型酪農における草地更新後の収益性格差と意思決定
吉野宣彦, 小糸健太郎
酪農学園大学紀要 47(1) 1-25 2022年10月
 - (2) A comparative study on fungal diversity in organic and conventionally cultivated lemons during accelerated storage
Kuniko Yoshida, Takeshi Ueno, Kentaro Koito, Dagula Hu, Akihiro Yamaguchi
Current Microbiology (in press) 2022年 査読有り

- ・ 著書
- ・ 社会貢献
 - (1) 軽種馬経営高度化指導研修（軽種馬経営技術指導者育成・技術普及）事業に関する経営管理技術研修検討委員会 委員
運営参加・支援
中央畜産会 2022 年 6 月 16 日 - 2023 年 3 月 31 日
 - (2) 軽種馬経営実態調査事業に係る委員会 委員
運営参加・支援
中央畜産会 2022 年 6 月 16 日 - 2023 年 3 月 31 日
 - (3) 江別市都市計画審議会 委員
運営参加・支援
江別市 2022 年 6 月 6 日 - 2024 年 6 月 5 日
 - (4) ICT を用いた授業運営、大学事務の今後の在り方について
事例報告「moodle を利用した学生・教員支援の取り組みから」
小糸健太郎、中村隆文
2022 年度第 1 回「江別 4 大学合同 FD・SD」（えべつ未来づくりプラットフォーム主催）、2022 年 9 月 12 日

食料経済学

食品栄養科学専攻 博士課程

●加工特性

食品加工特性学

教 授 竹田 保之

- ・ 論文
- ・ 著書
- ・ 社会貢献

教 授 船津 保浩

- ・ 論文
 - (1) 酵素剤添加しょつづの物理化学的特性と官能的品質に及ぼす発酵スターターと食塩濃度の影響

高橋徹, 塚本研一, 渡辺隆幸, 佐々木康子, 上原健二, 須藤あさみ, 小林侑太郎, 船津保浩

日本食品科学工学会誌 70(2) 85-93 2023 年 2 月 査読有り最終著者責任著者

(2) プロバイオティクス乳酸菌を含有した発酵食肉製品の品質特性

栃原 孝志, 久保田 真規, 橋谷田 羅奈, 鈴木 眸美, 小林 幸光, 宮崎 早花, 竹田, 竹田 保之, 船津 保浩

食肉の科学 63(No.2) 125-132 2022 年 11 月 30 日 査読有り最終著者責任著者

(3) アカエゾマツチップを用いて燻煙したベーコンの品質特性

前田 尚之, 久保田 麻美, 宮下 花林, 長谷川 靖洋, 岩崎 智仁, 横田 博, 船津 保浩

食肉の科学 63(1) 35-41 2022 年 8 月 査読有り最終著者

(4) しょつつる製造時のもろみと最終製品の品質に及ぼす酵素剤添加の影響

原田 渉弘, 塚本 研一, 高橋 徹, 田中 彰, 早坂 浩史, 船津 保浩

New Food Industry 64(4) 243-251 2022 年 4 月 査読有り責任著者

・著書

(1) 北海道産食材ハンドブック 第8版

荒川義人, 加藤淳, 高井瑞枝, 相川宗厳, 蛭谷幸司, 宜寿次盛次, 黒川晃次, 島崎敬次, 平井剛, 船津保浩, 三宅俊秀 (担当:共著, 範囲:藻類・魚介類)

札幌商工会議所 2022 年 7 月 (ISBN: 9784881930304)

・社会貢献

(1) 藻類・魚介類

講師

札幌商工会議所 第36回北海道フードマイスター検定受験対策セミナー 2023 年 1 月 14 日

(2) 藻類・魚介類

講師

札幌商工会議所 第35回北海道フードマイスター検定受験対策セミナー 2022 年 9 月 10 日

(3) 食品ロスをどう削減する？- 食品ロスを再利用するための発酵技術 -

講師

茨城県立水戸農業高等学校 出張セミナー (WEB 講義) 2022 年 9 月 8 日

(4) 農業概論

講師

酪農学園大学 2022 年度酪農学園大学免許法認定講習 2022 年 8 月 27 日 - 2022 年 8 月 27 日

(5) 食品学

講師

北海道全調理師会 第4ブロック 令和4年度 調理師試験準備講習会 2022年7月6日

(6) 藻類・魚介類

講師

札幌商工会議所 第34回北海道フードマイスター検定受験対策セミナー 2022年1月8日

食品物性学

教授 金田 勇

- ・論文
- ・著書
- ・社会貢献

●栄養機能

食品栄養機能化学

教授 小野寺 秀一

- ・論文

(1) Functional characterization and vacuolar localization of fructan exohydrolase derived from onion (*Allium cepa*)

Satoshi Oku, Keiji Ueno, Yukiko Sawazaki, Tomoo Maeda, Yutaka Jitsuyama, Takashi Suzuki, Shuichi Onodera, Kaiken Fujino, Hanako Shimura

Journal of Experimental Botany 73(14) 4908-4922 2022年5月 査読有り

(2) アスパラガス収穫期の養分消費を担うフルクタン加水分解酵素

上野敬司, 園田高広, 吉田みどり, 川上顕, 塩見徳夫, 小野寺秀一

応用糖質科学 12 117-122 2022年5月

- ・著書
- ・社会貢献

(1) 楽しい理科実験講座「でんぷんおもしろ実験室」

講師

酪農学園大学社会連携センター 2022年度市民公開講座

2022年7月30日

食品機能生化学

教授 岩崎 智仁

・論文

- (1) Biological properties of Staphylococcus virus ΦSA012 for phage therapy
Jumpei Fujiki, Tomohiro Nakamura, Keisuke Nakamura, Keita Nishida, Yurika Amano, Yusaku Watanabe, Satoshi Gondaira, Masaru Usui, Masaru Shimizu, Kazuhiko Miyanaga, Shinya Watanabe, Tomohito Iwasaki, Kotaro Kiga, Tomoko Hanawa, Hidetoshi Higuchi, Teiji Sawa, Yasunori Tanji, Yutaka Tamura, Longzhu Cui, Hidetomo Iwano
Scientific Reports 12(1) 2022 年 12 月 9 日
- (2) Sodium butyrate administration modulates the ruminal villus height, inflammation-related gene expression, and plasma hormones concentration in dry cows fed a high-fiber diet
Fukumori Rika, Doi Kazuya, Mochizuki Taisei, Oikawa Shin, Gondaira Satoshi, Iwasaki Tomohito, Izumi Kenichi
Animal Science Journal Accepted(1) 2022 年 10 月 査読有り
- (3) Morphological analysis of cell distribution and network structure via gap junctions in swine corneal stroma
Nobutaka HOSHINO, Kazushige TAKEHANA, Marina HOSOTANI, Kiyokazu KAMETANI, Tomohito IWASAKI, Yasuhiro HASEGAWA, Hiromi UEDA, Takafumi WATANABE
Journal of Veterinary Medical Science 84(12) 1621-1632 2022 年 10 月 査読有り
- (4) The location of protein oxidation in dystrophic skeletal muscle from the mdx mouse model of Duchenne muscular dystrophy
Tomohito Iwasaki, Jessica R Terrill, Kei Kawarai, Yuki Miyata, Takayoshi Tagami, Naoyuki Maeda, Yasuhiro Hasegawa, Takafumi Watanabe, Miranda D Grounds, Peter G Arthur
Acta Histochemica 124(8) 151959-151959 2022 年 10 月 査読有り筆頭著者
- (5) Mitochondrial characteristics of chicken breast muscle affected by wooden breast
Yasuhiro Hasegawa, Marina Hosotani, Miyu Saito, Tatsuki Nagasawa, Yusuke Mori, Takeshi Kawasaki, Michi Yamada, Naoyuki Maeda, Takafumi Watanabe, Tomohito Iwasaki
Comparative Biochemistry and Physiology, Part A Accepted 2022 年 8 月 査読有り責任著者
- (6) アカエゾマツチップを用いて燻煙したベーコンの品質特性
前田尚之, 久保田麻美, 宮下花林, 長谷川靖洋, 岩崎智仁, 横田博, 舩津保浩
食肉の科学 63(1) 35-41 2022 年 7 月 査読有り

- (7) Three-dimensional structural analysis of mitochondria composing each subtype of fast-twitch muscle fibers in chicken.
Sachi Makida, Kiyokazu Kametani, Marina Hosotani, Naoki Takahashi, Tomohito Iwasaki, Yasuhiro Hasegawa, Tomohide Takaya, Hiromi Ueda, Takafumi Watanabe
The Journal of veterinary medical science 84(6) 809-816 2022 年 4 月 14 日
- (8) Whole-Genome Sequencing of *Pasteurella multocida* Strain Pm1, Isolated from a Calf
Satoshi Gondaira, Jumpei Fujiki, Yuki Hirano, Ryo Murata, Ikuo Uchida, Masaru Usui, Tomohito Iwasaki, Tamaki Okabayashi, Hidetomo Iwano, Hidetoshi Higuchi
Microbiology Resource Announcements 2022 年 3 月 28 日
- (9) Effects of intra-articular inoculation with *Mycoplasma bovis* on immunological responses in calf joints
Koji Nishi, Yuki Hirano, Ayano Sato, Ayako Eguchi, Kazuya Matsuda, Miyuki Toda, Takafumi Watanabe, Tomohito Iwasaki, Naoki Takahashi, Marina Hosotani, Reina Watanabe, Toshihide Kato, Hiromichi Ohtsuka, Satoshi Gondaira, Hidetoshi Higuchi
Veterinary Immunology and Immunopathology 244 110364-110364 2022 年 2 月 招
待有り
- (10) Immune Response in Chickens Vaccinated with Freeze-Thawed or Warmed Water-in-Oil Vaccine
Takeshi Kawasaki, Tomohito Iwasaki, Takafumi Watanabe, Yasuhiro Hasegawa, Marina Hosotani, Michi Yamada
The Journal of Poultry Science 2022 年
- ・ 著書
 - ・ 社会貢献
- (1) 札幌市立開成中等教育学校 先端科学特論「電子顕微鏡実習」
講師
2022 年 8 月 20 日

●健康栄養

健康栄養学

教 授 大谷 克城

・ 論文

- (1) 日本の補体検査の進展
大谷 克城, 若宮 伸隆, 日高 義彦, 井上 徳光
日本臨床 80(11) 1865-1871 2022 年 11 月
- (2) 骨形成と補体 3MC 症候群と Periodontal Ehlers-Danlos 症候群

若宮 伸隆, 大谷 克城

日本臨床 80(11) 1741-1746 2022 年 11 月

・ 著書

・ 社会貢献

(1) 第 58 回日本補体学会学術集会

集会長

酪農学園大学 2022 年 8 月 19 日-20 日

教 授 須賀 朋子

・ 論文

・ 著書

(1) 幼児期の愛着形成重要「DV や虐待」考える研修会 水戸

須賀朋子

茨城新聞 23 面 2023 年 2 月 11 日

(2) 連載 第 3 回 セーフティプロモーションと私

須賀朋子

日本セーフティプロモーション学会学術誌 15(1) 6-10 2022 年 4 月 招待有り

筆頭著者

・ 社会貢献

(1) DV,虐待・愛着障害について

講師

NPO 法人ウイメンズネット「らいず」、水戸市、常磐大学共催 常盤大学

2023 年 2 月 5 日

(2) 地域で寄り添った支援～愛着に焦点をあてて～佐藤喜和

講師

札幌市東区保健福祉部 2023 年 1 月 31 日

(3) 愛着が心と脳に与える影響

講師

札幌市家庭福祉相談職員等研修 2023 年 1 月 30 日

(4) DV,虐待・愛着障害について

講師

日本赤十字秋田看護大学 看護学部 フォレンジック看護論特別講義(オンライン)
2023 年 1 月 17 日

(5) DV,虐待が心と脳に与える影響

講師

釧路市男女平等参画センター 2022 年 12 月 9 日

(6) デートDV防止に向けて～愛着との関係から考える～

講師

横浜市男女共同参画センター、横浜市教育委員会 横浜市教員研修(2回オンライン講座) 2022年11月16日 - 2022年11月30日

(7) 多様性を認め合い、人としての在り方生き方を学ぶ ～愛着の問題を通して～

講師

北海道清里高校 全校生徒 2022年10月21日

(8) 性の健康講座：デートDV予防、愛着の問題

講師

北海道網走桂陽高校 出張セミナー 2022年9月20日

(9) 思春期講話：DVと愛着の関係

講師

札幌市立太平中学校 2022年9月7日

(10) 虐待、DVと地域社会

講師

北海道立女性相談援助センター 札幌エルプラザ 2022年5月24日

(11) DV予防と愛着

講師

北海道保育・福祉大学校 2022年5月11日

(12) DV,虐待と愛着の問題

講師

第34回NPO北海道思春期支援ネットワーク兼北翔大学円山キャンパス連続市民講座 zoomでの講演 2022年1月29日

(13) DVと愛着の関係

講師

日本赤十字秋田看護大学 看護学部 フォレンジック看護論特別講義 2022年1月17日

(14) DVと愛着の関係

講師

北海道岩見沢市男女共同参画課 岩見沢市生涯学習センターいわなび 2022年1月16日

教授 山口 太一

・論文

- (1) 積雪地での冬期から春期にかけてのトレーニングにおける走行距離と走行速度が5000m走パフォーマンスに及ぼす影響

瀧澤一騎, 山口太一, 柴田啓介

北海道体育学研究 57 57-62 2022 年 11 月 査読有り

- (2) 前日の水分摂取制限が運動前の糖質溶液摂取に伴う運動誘発性低血糖に及ぼす影響

藤江衣織, 垣内ちひろ, 嶋森昂太, 池永和奏, 山崎祐太, 吉本香乃, 東郷将成, 瀧澤一騎, 木村宣哉, 柴田啓介, 山口太一

北海道体育学研究 57 49-55 2022 年 11 月 査読有り責任著者

・ 著書

- (1) トレーニング指導者テキスト実践編 3 訂版

NPO 法人 日本トレーニング指導者協会 (担当:分担執筆, 範囲:第 3 章 6 節 1 項 柔軟性向上トレーニング)

大修館書店 2023 年 2 月 2 日 (ISBN: 4469269484)

- (2) 人間の許容・適応限界事典

(担当:分担執筆, 範囲:関節可動域 (柔軟性), ウォーミングアップ, クーリングダウン)

朝倉書店 2022 年 11 月 11 日 (ISBN: 4254102968)

- (3) ケースで学ぶスポーツ栄養学 (みらいスポーツライブラリー)

清野 隼, 虎石 真弥, 山口 太一 (担当:共編者(共編著者), 範囲:第 11 章 スポーツ科学とスポーツ栄養学とのかかわり)

みらい 2022 年 9 月 1 日 (ISBN: 4860155815)

・ 社会貢献

- (1) トレーニングと栄養補給について

講師

北海道教育庁 高校生フィジカル&メンタル向上セミナー 2022 年 7 月 30 日 - 2022 年 11 月 6 日

臨床栄養学

教 授 石井 智美

・ 論文

- (1) ユーラシア東部地域・南部地域における牧畜民・遊牧民の家畜由来の産物利用

石井智美

酪農学園大学紀要 47(1) 7-23 2022 年 10 月 10 日 筆頭著者

・ 著書

- (1) 新型コロナウイルスに負けない食事とからだ～食べて元気！フレイル予防～

石井 智美

江別市介護保険課 2022 年 4 月

- (2) 生きものと食
石井智美
北海道女性研究者の会 2022 年 3 月
- (3) 乳糖不耐症を考える
石井智美
酪農学園大学社会連携センター 酪農 PLUS 2022 年 3 月
- (4) 食べることはヒトを幸せにする
石井智美
酪農学園大学社会連携センター 2022 年 3 月 (ISBN: 9784902786323)
- (5) 海外のユネスコ無形文化遺産（酒類関係）に関する調査業務
国際開発センター (担当:監修, 範囲:馬乳酒の伝統的なつくり方と関連づいた慣習)
株式会社 国際開発センター 2022 年 2 月
- ・社会貢献
 - (1) ミルクでわくわく レシピ提供
講師, 助言・指導, 実演
旭川ガス 2022 年 6 月 - 現在

●食環境管理

食品微生物管理学

教授 山口 昭弘

- ・論文
 - (1) A model study for contributing factors of the fermentation of qvevri wine
Soichiro Takahashi, Hudagula Hudagula, Noriko Minami, Naoko Maeno, Kuniko Yoshida, Syuichi Onodera, Yasuyuki Takeda, Tsuyoshi Tobiyama, Tsuguya Nakamura, Junshi Hanai, Toshihiro Tanaka, Tadayuki Uramoto, Ryosuke Kondo, Akihiro Yamaguchi
Food Control (in press) 2023 年 査読有り 責任著者
 - (2) A comparative study on fungal diversity in organic and conventionally cultivated lemons during accelerated storage
Kuniko Yoshida, Takeshi Ueno, Kentaro Koito, Dagula Hu, Akihiro Yamaguchi
Current Microbiology (in press) 2022 年 査読有り 責任著者
- ・著書
 - (1) 高ポリフェノール自生きのこクロカワの機能性評価

Soichiro Takahashi, Hudagula Hudagula, Noriko Minami, Naoko Maeno, Kuniko 山本
帆乃佳, 山口昭弘

北海道きのこアドバイザーの会会報 15 2022 年 5 月 招待有り

・社会貢献

(1) 農林水産省産学連携支援コーディネーター

助言・指導

グリーンテクノバンク北海道 2022 年 6 月 10 日 - 現在

(2) 地理的表示「北海道」ワインの揮発酸分析試験

運営参加・支援

地理的表示「北海道」使用管理委員会 2019 年 10 月 31 日 - 現在

食品環境汚染学

酪農学園大学大学院酪農学研究科業績集
(2022年1月－12月)

発 行：2023年 3 月31日
発 行 者：酪農学園大学
〒069-8501 江別市文京台緑町582番地
編 集：酪農学園大学大学院酪農学研究科
編集責任者：酪農学園大学大学院酪農学研究科研究科長
山口 昭弘
印 刷：社会福祉法人 北海道リハビリ
TEL 011-375-2111
